



週刊 Y E A R B O O K

1920
大正9年

日録20世紀

10/6

平成10年10月6日発行
(毎週1回火曜日発行)
第2巻第37号 通巻80号
平成10年7月31日第三種郵便物認可

¥560
講談社



「宮中某重大事件」!

「シベリア出兵」が生んだ惨劇「尼港事件」
最高潮「普選運動」と原敬内閣の陰謀
大リーグの汚点! 「ブラックソックス事件」

「皇太子妃候補に“色盲遺伝”の可能性」 長州閥の総帥・山県有朋を失脚させた 「宮中某重大事件」 の暗闘!

▼大正8年6月、婚約成立当時の久邇宮一家。後列中央が
邦彦王と幌子妃。前列中央の良子女王は、6人兄妹の3番
目で長女。この翌年、「宮中某重大事件」が起きる。



毎日新聞社



▶婚約時代の皇太子。事件が落ち着いた大正一〇年
春に訪欧、洋風のスタイルを身につけられた。

婚約後に問題にされた 皇太子妃候補の“資質”

大正九年五月一日、元老で枢密院議長
の山県有朋（八二）は、宮中で開かれ
た皇室会議の後、同じく元老の西園寺公
望（七〇）、松方正義（八五）と一堂に
会し、困惑した表情を見せた。皇太子裕
仁親王（二〇）の妃に内定している久邇
宮良子女王（二七）が、色盲の遺伝因子
を持っている可能性がある、というので
ある。皇太子と良子女王の婚約は、すで
に大正六年暮れに内定し、大正八年六月
には正式な婚約が成立していた。
山県がこの話を耳にしたのは、この年

大正九年から一〇年にかけて、「宮中某
重大事件」が政界を揺るがした。皇太子
裕仁親王の婚約をめぐる争いは、薩長両
派の対立、宮中での勢力争いなどから
んで、大きな波紋を引き起こしたのであ
る。長州閥最大の實力者で、この一件を
利用して絶大な権勢を宮中にまで広げよ
うとしていると非難された元老・山県有
朋には、宮中や世間の反感が一身に集ま
り、窮地に追いつめられることになる。



▲東京・芝の写真館で極秘に撮られた、皇太子との“お見合い写真”。大正6年、良子女王は学習院女学部中学科在学中の14歳だった。翌年1月18日、婚約内定が発表される。

◎表紙 皇太子との婚約発表時の久邇宮良子女王（現・皇太后）。お気に入りの帽子は、当時のトップモードだった。

お妃教育と杉浦重剛

大正7年4月13日、麹町一番町の久邇宮邸内の学問所で、後閑菊野元東京女高師（現・お茶の水女子大学）教授を教育主任とする、良子女王への5年間にわたる“お妃教育”が開始された。講義内容は、「倫理」「作法」「国語」「歴史」「地理」「漢文」「作文」「フランス語」「科学」「音楽」「体操」「美術史」「社会事業」など。料理や裁縫、生け花、ダンスといったお稽古ごとにも専門の講師がつき、授業は朝の9時から夕方近くまでだった。この中で、「倫理」を担当したのが当時、皇太子に帝王学を進講していた杉浦重剛だった。

英国留学経験がある博学の士で、気骨あふれる人物だった杉浦は、「宮中某重大事件」では、皇太子と良子女王の結婚のために奔走。その疲れからか、事件が一件落着いた直後、病床についた。良子女王は、お内裏様とお姫様の一对の紙雛の絵を描いて、師の病床に贈ったという。杉浦は、二人の婚儀が終わるのを無事見届けると、大正13年2月13日に永眠。享年70。遺言は、「国家の前途を気遣うばかりじゃ」だった。



「皇太子妃候補に“色盲遺伝”の可能性」 長州閥の総帥・山県有朋を失脚させた 「宮中某重大事件」の暗闘！

山県の敗北が明らかになっていく。「山県は朝敵」「長州の陰謀」などの見出しが躍る怪文書も飛びかったが、中には、課題となっていた皇太子のヨーロッパ外遊問題と婚姻問題結びつけ、「山県の陰謀で、皇太子の不在の間に、婚約も白紙に戻すのではないか」というものまであった。さらに、翌大正一〇年の二月に入ると、過激分子による山県暗殺の噂まで飛び出すありさまだったのである。こうしたすったもんだのすえ、大正一〇年二月一〇日、宮内省は「良子女王殿下東宮妃御内定の事」に閣議上種々の噂ありやに聞くと、右御決定は何等変更なし」と、異例のコメントを発表。

この時点まで、お妃候補をめぐる騒動は、内務省が報道を禁じていたため、庶民に知られることはなかった。「山県が敗北する過程で、注目すべき役割をはたしたのは、頭山満や内田良平らの右翼浪人でした。彼らは大正一〇年二月一日の紀元節に国民祈願式をあげて、騒ぎを広げようと画策します。あせった宮内省は、前日にコメントを発表して事態を収拾、山県一派は惨敗します。宮内大臣も、山県腹心の中村雄次郎から薩摩派の牧野伸顯に代わりました。この事件は、右翼が天皇の悪臣、いわゆる「君側の奸」を清めようとする攻撃のはしりでした」と語るの、横浜市立大学名誉教授の

今井清一氏である。これが、世に「宮中某重大事件」と言われた一件の顛末である。皇太子と良子女王の結婚は、大正一三年一月二六日に行われた。みずから口火を切った問題で完敗した山県は、いっさいの官職・栄位からの辞意を表明（大正一〇年三月二日）。その心情を、「このうちの苦しさは、言の葉もなし」と



▲大正10年4月4日、日比谷大神宮で

の杉浦重剛(右から二人目)と頭山満(その左)。頭山は2月12日の新聞紙上に談話を寄せ、杉浦をたたえとともに、山県の辞職を強く迫った。



▲大正一〇年六月、山県有朋の最後の写真。山県の辞表は五月一八日に却下されたが、威信は地に落ちた。

の春、担当医である平井政道前日本赤十字社病院長からだったと言われる。もととはと云えば、騒動は学習院で行われた体格検査で、良子女王の兄・久邇宮朝融（二九）の色弱が発覚したのが発端だった。九の色弱が発覚したのもかわらず、噂は緘口令が敷かれたにもかかわらず、噂はただちに広まり、山県の耳にも達した。三元老の結論は、とりあえず専門医の診断を待つ、というもの。編成された専門医グループはこの年一月一日になって、良子女王の祖母で、旧薩摩藩主の島津忠義公爵の側室・寿満子（色弱であること、良子女王自身に色覚異常はないが、色覚異常の遺伝子を保有している確率は五分五分であること、皇太子と良子女王の間の男の子、つまり皇位継承者に色覚異常者が生まれる確率が五〇だと報告する。これを皮切りに、宮中と政界を巻き込んだ一大争闘劇が繰り広げられることになった。背景には、大正天皇が幼時に患った脳膜炎の影響で、この頃、執務に支障をきたしているという事情もあった。山県は「皇統は至神至聖たるべし、たとえ微細なる瑕疵といえども、未然にこれを知らず、知らざるをよおすは臣下の分にあらず」、つまり「純潔論」の立場から、久邇宮家みずから婚約を辞退すべきと主張する。

さらに久邇宮家が旧薩摩藩と婚姻関係にあることも、ことを複雑にしていた。長州閥の実力者である山県にとつて、薩摩系の良子女王が皇太子妃になることは薩摩閥の勢力伸張につながる。まして、剛直な軍人である良子女王の父・久邇宮邦彦王（五四）は、皇室会議の席上、皇室財宝の処置をめぐる「皇室典範」の改正問題で、山県と衝突する一件も起こしていた。山県は、邦彦王を嫌い抜いていたのである。対する久邇宮家の反論は、「いったん決定した以上、軽々しく変更すべきでない。そんなことをすれば忠良な忠民の信念に悪影響を与えかねない」、しかも、皇太子妃にという打診があった時、専門医が診察して、結婚にさしつかえなしと認めたではないか、というものであった。そしてなおも辞退を迫る山県らに対し、邦彦王は、「婚約解消などしたら、娘・良子を刺してから、加えられた屈辱のために自分も切腹する」とまで言い放つ。各方面に働きかけを開始した彼は、大正九年の一月二六日には皇后に拝謁し、異例の直訴におよんだほどだった。

暗殺の噂まで飛んだ「反山県」派の包囲網 山県らが久邇宮家に婚約辞退を迫っているとの話を聞き、一人の男が立ちあがった。東宮御用掛として皇太子に帝王学を、婚約以降の良子女王に皇后学を講義していた杉浦重剛（六五）である。大正九年秋、この一件を知った杉浦は、「些事たる色盲遺伝を口実としてにわかには破約をすれば、皇室は尊厳と信望を失う」と、「人倫論」を主張して久邇宮家を支持。入江為守侍従長、浜尾新東宮大夫、東郷平八郎元帥、右翼の巨頭・頭山満らに働きかけた。それに加え、島津家による元首相の山本権兵衛、内相・床次竹二郎ら薩摩派に対する工作も功を奏し、元老・松方正義など薩摩派の重鎮が「反山県」で結束。これに大隈重信元首相までが久邇宮側に同調するにおよび、



▲飯野吉三郎。『穂田の行者』と呼ばれた怪人物。山県、下田らを介して、「宮中某重大事件」でも暗躍した。



▲下田歌子。元宮中女官で女子教育の先達だが、飯野吉三郎とのスキャンダルを取りざたされた。

日本軍・居留民が降伏、俘虜二二二人も虐殺 シベリア出兵、続行の口実とされた 惨劇「尼港事件」の真実！



日本軍守備隊が奇襲を敢行、ほぼ全滅し降伏する。写真は第29野戦郵便局の焼け跡。毎日新聞社（見聞き全点）

大正七年に開始された「シベリア出兵」は、その前年に起きたロシア革命に対する連合国の軍事干渉であり、日本は他国が撤退した後も駐兵を続け、反革命政権樹立に狂奔した。大正九年三月と五月に、アムール川河口の町・ニコラエフスクで起こった惨劇の原因は、こうした干渉戦争の中で増幅されたロシア側の反日意識にあった。

投降勧告軍使の処刑が「尼港事件」の引き金に

大正九年一月二八日、トリアピチン（二三）が指揮するバルチザン軍（ソビエト政府正規軍ではなく民兵部隊）は、樺太の対岸にあるアムール川（黒竜江）河口の町・ニコラエフスク（尼港）郊外のチヌイラフ要塞から日本軍を駆逐すると、市街への砲撃を開始した。共産党員ではないが無政府主義共産主義者を自称するトリアピチンは、ユダヤ系ロシア人で、帝政時代はペテルブルグの金属工だった。ニコラエフスク解放を目的として川ぞいに北上した部隊は、道中で農民や鉱山労働者などを味方につけながら勢力を増し、一月末には総勢約二〇〇〇人といへ



▲大正9年3月12日、ニコラエフスクでバルチザン軍と停戦中だった

四〇〇人以上を逮捕し、革命法廷の審理の後に数十人を銃殺したのはこの直後のことである。日本軍幹部は憤慨し、次は自分たちの順番だとおそれおののいたに違いない。石川は三月七日、トリアピチンに詰問するが、内政問題ととりあつてもらえなかった。援軍を求めるにも、通信基地はおさえられているし、氷結したアムール川は航行困難であった。

事件を反共宣伝に使い「干渉」を継続した日本

日本軍は、三月二二日午前一時三〇分、バルチザン本部を急襲する。本部は火災に包まれ、トリアピチンは手榴弾で負傷したが、戦闘員三四二人という日本軍と四〇〇〇人近くに膨れあがったバルチザン軍では戦いにならなかった。居留民を保護するべき石田虎松副領事はみずから領事館に放火し、妻子を道連れに、三宅駿五海軍少佐と刺し違えた。

▲降伏勧告の軍使を殺害されたバルチザン軍の報復により、惨殺された日本兵。手足を針金でしばられていた。



う大部隊になっていた。

ニコラエフスクは北洋漁業の重要拠点で、人口約二万二〇〇〇人。内訳はロシア人八七〇〇人、日本人一二〇〇人（うち朝鮮人九〇〇人）、中国人二二〇〇人で、島田商会という水産工場が、私紙幣を発行するほどの力があった。

革命勢力に対するニコラエフスクの白衛軍は、投降者が続出し、この町の防衛戦の主役は日本軍守備隊であった。日本軍は、一月一日からバルチザン軍と交戦を開始していたが、激しい風雪の中をバルチザン軍が、スキーを自在に操って行動するのに対し、移動時がソリ、戦闘中は徒歩で、苦戦が続いていた。

一月二四日にバルチザン軍の使者が投降を勧告してきたのを、石川正雅守備隊長は拒否し、身柄を白衛軍に引き渡したため、二人の軍使は白衛軍に殺されてしまう。軍使の処刑

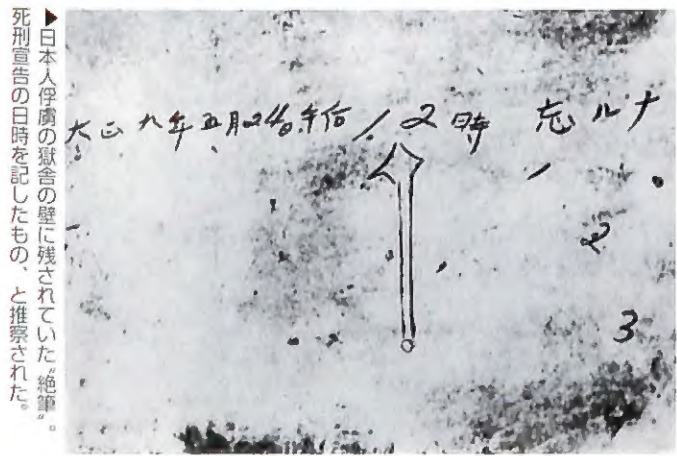
を簡単に許した石川の狭量さが、この年三月の「尼港事件」の引き金となったのである。

「裏切りものと日本人を早くやつつけろ」「我々がこの土地の主人だ」

そんな叫びが、バルチザン軍の中で高まった。サケ・マスの乱獲で内戦期に経済支配を行った日本の漁業資本家への反発心、明治三八年の日本軍による樺太島南部住民虐殺など、この地域の住民には日本人に対して恐怖と沈潜した敵意があった。まさに一触即発だったのである。

二月二八日、バルチザン軍主導の講和条約が日本軍との間で締結され、軍事行動が停止された。二九日、市民を迎えられて市内に入ったトリアピチンは、以下のような演説をした。

「ハバロフスク、ウラジオストクの両市では、依然として反革命勢力が有産者・日本軍との協調という裏切り政策をとっており、彼らを一掃しなければならぬ」バルチザン軍が白衛軍将校、資本家ら

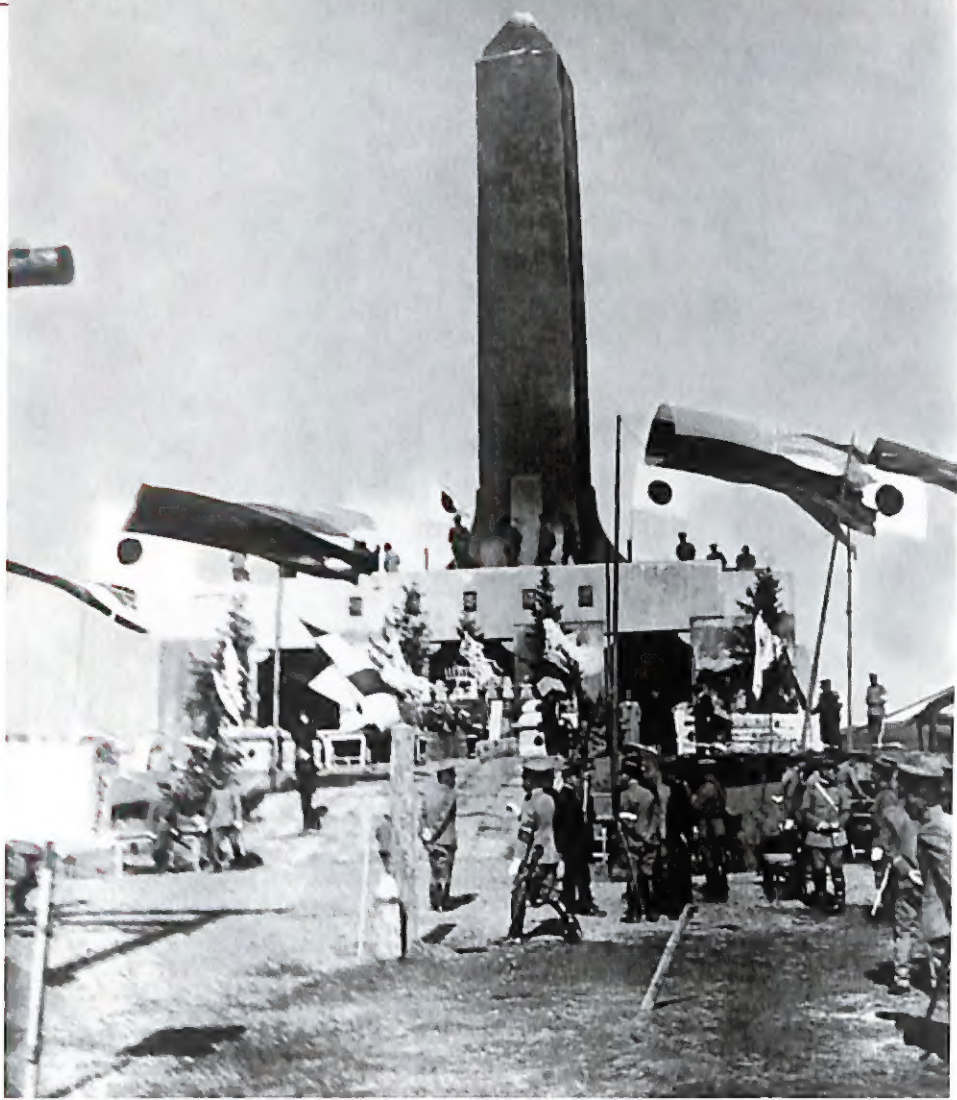


▲日本人俘虜の獄舎の壁に残されていた「絶筆」。死刑宣告の日時を記したものと推察された。

▲「尼港事件」犠牲者の遺骨を祀った忠魂碑。
ニコラエフスクから後に北樺太のアレクサン
ドロフスクへ、さらに小樽市に移された。
毎日新聞社

戦間には実質二日で終わり、日本軍は降伏し、残存する兵士と居留民一二二人は俘虜として収監された。
カムチャツカの日本領事館発の打電を
外務省が受けたのは三月二十九日、新聞は「過激派と我軍の衝突 我軍の損害多くニコラエフスクの我領事館は焼かれ副領事石田虎松氏は生死不明」(大阪朝日新聞「三月二十九日夕刊」)などの大見出しで事件を取り上げ、「尼港の惨劇」の悲報は全国を駆けめぐった。奇襲の結果の自爆的全滅とは知らず、国民はバルチザンによる日本軍および居留民七〇〇人近くの惨殺事件だと憤激した。

原敬内閣は四月六日の閣議で、ニコラエフスク救援隊の出動を審議し、小樽に待機中だった派遣隊に対して、まず北樺太に上陸した後に機を見てニコラエフスクに発進すべしという指示を与えた。二〇〇〇人の部隊は一八日に軍艦「見島」「三笠」の護衛のもとに出発、二二日、公式の占領宣言を出さずに北樺太を占領した。そして日本軍は、バルチザンの重要参考人としてサハリ島革命委員会議長のツアブコほか数人を連行し、拷問のうえ、海中に投棄する。
五月の解氷期を迎え、日本軍のニコラエフスク再占領が避けられない情勢にな



ると、トリアピチンとそのとりまきは、勝ち目がないと判断し、「狂気のテロル」を展開した。
犠牲者は三〇〇〇人とも樺太住民の半数の五〇〇〇人とも言われる。獄舎にいた日本人俘虜も惨殺された。バルチザン軍は六月一日、市街に火を放った。救援隊が伝える現地の酸鼻をきわめた状況を、新聞は大々的に報道した。
「凶悪言語に絶する尼港の過激派 邦人百三十名を虐殺す」(大阪朝日「六月七日」)
次いで、従軍記者のよりセンセーショナルな記事が、紙面を埋め尽くした。
「荒寥たる焼野原に千秋の怨みを遺す我が同胞」(大阪朝日「六月一七日」)
トリアピチンらは、七月三日、

ボルシェビキの軍事革命本部によって逮捕され、公開人民裁判の決定で銃殺刑が執行された。二日後、ウラジオストクの共産党沿海州協議会は、トリアピチンらは党とは無縁の冒険主義者であることを内外にアピールした。しかし日本にとつて、この事件は干渉政策を継続するかどうかの材料であった。
「政府は過激派ニボルシェビキという反共宣伝材料に使うと同時に、北樺太占領の口実としたのです」(細谷千博・国際大学日米関係研究所特別顧問)
そして、シベリアにおける日本の武力干渉は、大正一一年秋に撤兵を完了するまで続くのである。



▲日本軍守備隊が居留民保護を名目に入市した頃の、ニコラエフスク。市街は事件で灰燼に帰した。
▶バルチザン軍幹部たち。中央白衣の人物が司令官・トリアピチン。その左の女性は参謀長の二ナ。



女たちの肖像

稲葉真弓

原因は須磨子の「嫌がらせ」 舞台から映画女優第一号へ 名花・酒井米子の「有為転変」

この年、映画界に画期的な出来事があった。松竹蒲田、大正活映など各映画会社が次々と女優を採用、日活向島撮影所も一〇月、酒井米子(二二)ら三人を女優として迎え入れ、米子は日本の映画史上初の女優として華やかなスタートを切った。が、彼女は、無垢な素人女優ではなかった。すでに舞台で蓄積された経験があり、一時は松井須磨子と競い合うほどの実力派。須磨子の名声の陰に隠れて、舞台では脚光をあびなかったが、映画によって妖艶な魅力が花開いたのである。



▲尾上松之助らの相手役として活躍。

明治三二年、東京・神田に裕福な魚問屋の娘として生まれた彼女は、父親の死後、貧乏のどん底にあった。一歳の春、東京俳優養成所の第一期生の試演会を見て舞台の魅力にとりつかれ、幹部の田中栄三を訪ね女優志願。四三年、井上正夫の新時代劇協会に所属し、バーナード・ショーの「馬盗坊」で娘役を演じ初舞台を踏んだ。この時、彼女は電車賃もなく、母親と住んでいた小石川の家から丸ノ内の劇場まで毎日歩いてかよったという。翌年、協会は解散。その後、土曜劇場、吾声会などで舞台に立ち、芸術座入りを果たすが、須磨子の嫌がらせやイジメを受け、

一カ月で退団という憂き目にあった。ついには生活がたゆまなくなり、芸者に出ていた姉をたよって、花柳界デビュー。元女優の転身はたちまち劇界や文士の間で話題になり、売れっ子芸者になった。
この芸者時代、彼女は市川猿之助の弟・市川松尾や東本願寺法主の大谷光演と浮き名を流し、光演との間に女児を出産。そんな彼女を映画界に引っ張り出したのは、芸術座にいた小村光雄だった。デビュー作は「朝日すす前」。一時は松竹蒲田に移籍したが、また日活に戻り「鞍馬天狗」「鳴門秘帖」「忠臣蔵」などに出演、日活の名花、姐御スター、パンプ女優と呼ばれ大人気を博した。この全盛時代、息子の欣也(後に監督)をもうけたが、相手とはすぐに別れ、時代劇女優ナンパワンの地位を守る。昭和七年、日活の不況により退社すると、「酒井米子一座」を旗揚げし、各地を巡演した。
戦後は映画界を退き、北海道・旭川市内でキャバレーを経営。昭和三〇年、溝口健二監督の「新平家物語」に台詞のない役で出たのが最後の女優姿となった。三三年、六〇歳で死去。枕元には、華やかなりし頃の新聞記事の切り抜きが残されていたという。

勝者・敗者

阿部珠樹

品川遊廓からも黄色い声援 旧東海道を四校学生が走る 第一回箱根駅伝スタート!

日本のスポーツとは何か、を外国人に理解させるには、箱根駅伝を見せるのが手っ取り早い。個人を犠牲にしてまで全体に奉仕させる独特のチームワーク、一区間約二〇の長距離なのに途中給水さえ認めない奇妙な精神主義、日本選手権でも、大学選手権でもないただの関東ローカルの大会なのに、沿道には一五〇万人もの見物客が押しかけ、熱狂する。たしかに箱根駅伝は面白い。
第一回箱根駅伝が行われたのは、大正九年二月一四日。しかし、駅伝という日本独特のスポーツが生まれたのはもっと早く、読売新聞社が大正六年、「東海道五十三次駅伝徒歩競走」(京都・東京間)と銘うった大会を開催したのが始まりである。まるで飛脚のように、長距離をたすきでつなぐこのレースは、日本人の感覚にフィットしたようで、大会の直後には「駅伝競走」というタイトルの映画が封切られたりしている。

こうした駅伝熱を受けて始まったのが箱根駅伝だった。正式名称は「東都大学専門学校東京・箱根間往復一三〇マイル駅伝競走」。主催したのは報知新聞社だった。
長い名称とは対照的に、第一回大会の参加校は、早稲田、慶応、明治、東京高等師範のわずか四校。区間は現在と同じ一〇区間だった。
道路網の整備されていない時代のこと、コースは旧東海道が使われた。車もほとん

ど走っていない土ぼこりの道を、足袋姿の学生がたすきで駆けつける姿は、近代スポーツと言うよりは、弥次喜多道中に近いものがあつた。
参加者の回想によると、途中の品川宿にはまだ遊廓が残っており、疾走する学生に、白塗りのお姉さんたちががきかに声援を送ったという。
優勝したのは東京高等師範。明治四五年のストックホルム・オリンピックに出場した金栗四三の母校であり、長距離走の名門だった。優勝タイムは一五時間五分一六秒。現在の優勝チームは一時間五十分一六秒。現在の優勝チームは一時間五十分一六秒。現在の優勝チームは一時間五十分一六秒。



▲優勝した東京高師チーム。最終区で明治を逆転した。

1920

フォト＋日録で再現する366日

この年の二月、普選実施を求める運動は最高潮に達し、東京では数万人の民衆がデモ行進。五月二日の日曜日には、日本で初めてのメーデーが上野公園で開かれ、一万人が参加した。しかし、第一次大戦中からの過剰生産が原因で、一転、戦後恐慌、大不況が日本を襲う。

▲高島屋呉服店が「安売りデー」(2月21日)購物が最盛の朝配を見せた時、京橋・南銀座の東京店で3日間の特別セールを行った。開店と同時に客が殺到し、警察官が出動。初日だけで売り上げ8万円の記録。毎日新聞



日録 20世紀1920

1月



「太陽」

▲米国の徳富蘆花と野口米次郎(1月31日)蘆花(51)は在ニューヨーク日本人会で講演。前列中央の蘆花夫妻は、前年1月からの世界周遊旅行中で3月に帰国。英語詩人として著名な野口は後列左。

▲米「禁酒法時代」に突入(1月17日)憲法を修正して全国的な禁酒法が施行され、酒の製造・販売・輸出入が禁止に。しかし密売によるアル・カポネなどギャングの隆盛をもたらした1933年禁酒法は撤廃。



▶「森戸事件」起こる(1月14日)「経済学研究」に発表したクロボトキン研究が、危険思想とみなされて東京帝大助教授・森戸辰男(31)が起訴された。禁固2月の有罪判決。



▶両国国技館、再建(1月15日)明治42年に始まる初代国技館が、大正6年に失火焼失。工費130万円をかけ、収容人員約2万人、日本最大の興行場が完成し、開館式が行われた。



AP/WWP

▶新議院、地鎮祭(1月30日)第1回帝国議会以来、東京・日比谷の仮議事堂しかなかったが、ようやく現在の議事堂が着工へ。永田町の約2万坪の敷地内で、地鎮祭を挙行。完成は昭和11年。

▼国際連盟、成立(1月10日)大戦の惨禍から、初の平和維持機構が生まれ、42カ国が参加。提唱者・ウィルソンの米国は、孤立主義の台頭で議会が加盟拒否。写真はジュネーブの第1回総会。



「写真通信」



「イリュストラシオン」

大正9年1月

- 1(木)博文館「新青年」少年少女譯海を創刊。
●米・英で、ロシア革命の恐怖から赤狩り旋風。
- 2(金)北京政府、日貨排斥禁止を発令。
- 3(土)米プロ野球選手のパール・ルース、年俸三万でヤンキースと契約。
- 4(日)神奈川県相模郡の女工八〇〇人、辞職者への同情スト(6日、強制就業)。
- 5(月)ロシア赤軍、イルクーツク占領(西シベリアのオムスク反革命政府、事実上崩壊)。
- 6(火)平塚らいてうら、新婦人協会初打ち合わせ会。
- 7(水)文部省、字形統一など漢字整理案を公表。
- 8(木)ラジオオーストクの米軍司令官、シベリアからの米軍撤兵を大井成元司令官に通告。
- 9(金)國池製作所の職工二六〇人、八時間労働制、組長選挙制などを要求のスト(26日、妥結)。
- 10(土)国際連盟、ベルサイユ条約が発効して成立。
●森戸辰男東京帝大助教授、論文問題(13日休職処分、14日起訴、3月有罪判決。森戸事件)。
- 11(日)在京の台湾人留学生、新民会を結成。
- 12(月)高女校長などの東京府特別講演会、主婦の仕事多すぎ過労、生活改善が必要と。
- 13(火)松井慶四郎を和約実施委員長に任命。
- 14(水)千葉県富津で火災、強風で三七戸延焼。
- 15(木)国技館、東京、両国に再建され開館式。
- 16(金)連合国最高会議、オランダ亡命の前独皇帝の引き渡しを要求(オランダ、信義上拒否)。
- 17(土)米、禁酒法(憲法第一八修正)施行。
- 18(日)大阪で労働団体など一万人、普選要求デモ。
- 19(月)初の横断歩道、電車横断線を東京の江東橋錦糸堀間に設置。
- 20(火)堺・山川共編マルクス伝など、叢書刊行。
- 21(水)生糸相場高騰(一俵四三三〇円)。
- 22(木)本年度予算案(約二億四、衆議院に提出)。
- 23(金)広東軍政府、山東問題交渉に反対。
- 24(土)愛媛県婦人連合大会、開催(一五〇〇人参加)。
- 25(日)生活改善同盟会、内務・文部両省推進で設立。
- 26(月)長崎市石炭港仲仕(一〇〇〇人、賃上げスト)。
- 27(火)山脇玄、貴族院で婦人参政権など質問演説。
- 28(水)日本軍、ラジオオーストクに上陸開始。
- 29(木)全国で流感猛威、一家七人死亡も、と新聞に。
- 30(金)国会議事堂、起しの地鎮祭に(一〇〇〇人参加)。
- 31(土)全国普選連合会、四三の団体で結成。
●北京の学生、北京政府の弾圧と山東問題の白中直接交渉に反対の抗議デモ。



▲水谷八重子・夏川静江(静枝)の「青い鳥」大好評(2月11日)東京・有楽座の新劇協会第1回公演に出演。写真左がチルチルの水谷(14)、右が夏川(10)のミチル。

▲「バスガール」発車(2月2日)前年開業の東京市街自動車、37人を採用。青バスに制服の大きな白襟がよく映え、女性の新しい職業として注目された。



「写真通信」

▼日本銀行また小額公債売り出し(2月13日)全国郵便局を窓口、前年から5回目。「シベリア出兵」の費用になっているとの野党の批判をよそに、人気を集めた。



西日本新聞社

▲八幡製鉄大争議(2月5日)浅倉健三率いる労友会系の職工約1万3000人が、待遇改善を求めて罷業を宣言、3月2日までデモと弾圧で大荒れになった。

▶原敬、衆院解散(2月26日)普選運動が盛り上がる中、法案審議中に突然、解散の詔勅。総選挙では、小選挙区制で政友会が圧勝。写真は、解散直前の国会前。



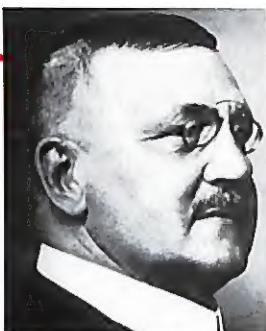
「写真通信」



▲赤軍、猛攻(2月22日)デニキン將軍率いる白軍が、仏・ギリシャなどの増援をなくし惨敗し、27日には拠点・ウクライナも陥落。写真は、指揮官・トロツキーを従え演説するレーニン。

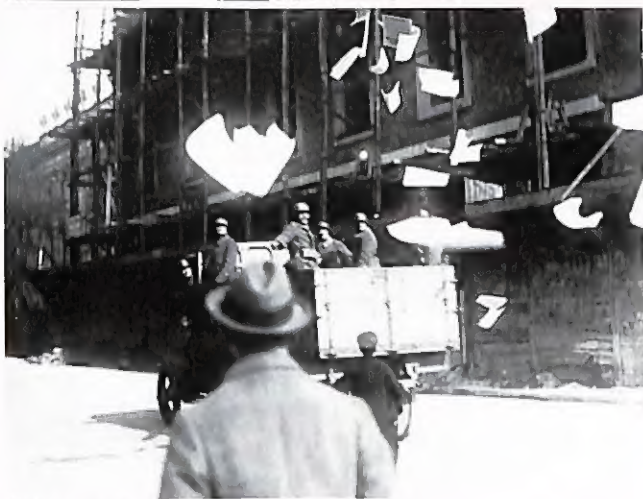


「写真タイムス」



Ullstein/ユニフォト・プレス

◀独ワイマール共和国でカップ・揆(3月13日)退役軍人・カップ(写真左)が、軍備削減に不満な軍隊などと結託。しかし、社会民主党が指令したゼネストと官僚の非協力で「四日天下」。下はベルリンの叛乱軍。



ユニフォト・プレス

▲「アメリカの恋人」結婚(3月27日)メアリー・ピックフォード(26)の相手は、ダグラス・フェアバンクス(36)。米映画界が誇るスター同士の夫妻は、前年、チャップリンらと映画製作会社設立、後に「黄金狂時代」を世に送る。



「写真タイムス」

▲東京・浅草の吾妻座火事(3月1日)大正3年、もとの浅草国技館を日活が買収、遊楽館の名で映画常設館に。7年に改築、吾妻座として松竹の演劇興行に貸されていた。



「イラストレーション」

▶「三・一運動」1周年記念(3月1日)東京在住の朝鮮人留学生約200人が、西神田の朝鮮基督教教会館で演説会。警察の解散命令に応じず日比谷に向かい、無届けの屋外集会として多数を検挙。写真は女子7人。

▲矢島桐子、第10回万国婦人会大会へ出発(3月13日)日本婦人矯風会会頭として、86歳の老身を新調のマントと頭巾に包み、ロンドンへ。万に備えて後事いっさいを遺言。



「写真タイムス」

大正9年2月

- 1日 ●神戸市、尿処理を市営に。
- 2日 ●初の女性市掌、東京市街自動車に乗務。
- 3日 ●日本工業倶楽部、総合課税・超過累進課税などの所得税改正案に修正を要望。
- 4日 ●川崎大師の豆撒きに十数万人の出入、人に踏まれて死傷一人、負傷者多数。
- 5日 ●八幡製鉄所職工約一万三〇〇〇人、待遇改善要求スト(24日にも、4月1日、解決)。
- 6日 ●中国、大總統令で学生の排日運動を禁止。
- 7日 ●コルチャック提督をロシア赤軍が処刑。
- 8日 ●ガス不足(新工場建設の遅れ)で食事の支度ができない、工場は休業状態、と新聞に。
- 9日 ●新婦人協会、婦人参政権の請願書を衆議院に。
- 10日 ●日本曹達、設立(専務・中野友礼)。
- 11日 ●東京で二一団体、数万人の普選大デモ行進。松竹キネマ、設立(6月、蒲田撮影所完成)。
- 12日 ●東伏見宮御召し列車連結の待機に松田下曾我間(御殿場線)で投石、寝台車の窓を割る。
- 13日 ●珍田駐英大使、ロンドン五大国会議に出席。
- 14日 ●第一回東京一箱根間往復駅伝競走。
- 15日 ●富岡謙蔵著「古鏡の研究」刊行。
- 16日 ●富士瓦斯紡績小名木工場職工二〇〇〇人、賃上げ要求スト16日、押上場と同情スト)。
- 17日 ●東京帝大、女子の聴講生入学を許可。
- 18日 ●警視庁、御真影の粗悪な扱いは処罰と伝達。
- 19日 ●長野県松本で地震、道路崩壊し電柱倒壊。
- 20日 ●宮内省図書寮が全焼、図書被害はなし。
- 21日 ●婦人参政問題で新婦人協会、第一回演説会。
- 22日 ●普選問題全国連合大懇親会、東京・芝公園に三万人を集めて開催、首相官邸へデモ。
- 23日 ●英・リバプールに日本領事館、開館。
- 24日 ●ヒトラ、独労働者党(後のナチス)綱領発表。
- 25日 ●新文芸協会、東京・明治座で「法難」を初演。
- 26日 ●普選法案審議中の衆議院、解散。
- 27日 ●前衛映画「カリガリ博士」、ベルリンで上映。
- 28日 ●政友会の選挙運動費一〇〇万円、と新聞に。
- 29日 ●チエコ国民議会、共和国憲法を採択。

大正9年3月

- 1日 ●東京株式市場、売買五万株の新記録で活況。
- 2日 ●閣議、「シベリア出兵」の目的を朝鮮・満洲(中国東北部)の過激派の脅威阻止に変更。
- 3日 ●言論機関の発達と安い食料品を求める社会現象で、印刷所とパン屋激増、と新聞に。
- 4日 ●東武鉄道、西新井・草加間複線化開通。
- 5日 ●河井道、スイス万国基督教学生大会へ出発。
- 6日 ●前年の欧米渡航者約六万人で激増、と新聞に。
- 7日 ●印刷組合の要求を入れ、雑誌は五月号から三〇割の値上げ、と新聞に。
- 8日 ●東京市電内告の競争入札、前回の約二倍で三年間六八万円(一画一カ月二円の計算)。
- 9日 ●富山県伏木港女性夫六〇〇人、賃上げ争議。
- 10日 ●朝鮮総督府編纂「朝鮮語辞典」刊行。
- 11日 ●バルチザン、ニコラエフスク駐留軍に武装解除要求(12日、日本軍が攻撃、敗北。5月下旬、収容中の日本人を虐殺、「尼港事件」)。
- 12日 ●東京女子医専、初の女子専門学校として認可。
- 13日 ●退役軍人・カップが反革命クーデター(17日、失敗。カップ一揆)。
- 14日 ●家庭製作奨励会、静岡市で内職見本展開催。
- 15日 ●株価暴落、戦後恐慌始まる。
- 16日 ●閣議、全国的に職業紹介所設立を決定。
- 17日 ●内務省、警保局に外国人対策の外事課を新設。
- 18日 ●床次内相、地方長官会議で選挙取締りを明示。
- 19日 ●米下院、国際連盟不参加を決定。
- 20日 ●鈴木式織機(後の鈴木自動車工業)、設立。
- 21日 ●朝は納豆売り、難病の父と働く母を助けて四年間無欠席の小学生、生きた教材、と新聞に。
- 22日 ●東京府住宅協会、五二〇戸の申込受付開始。
- 23日 ●片倉製糸紡績、設立。
- 24日 ●東京・巣鴨の障害児施設「瀧野川学園」全焼。
- 25日 ●敬神崇祖の念を養うため関西の諸神宮参拝の東京市内の女性教師団九三人、東京駅を出発。
- 26日 ●一代目守田勘弥、東京の帝国劇場で菊池寛作の「恩讐の彼方」を初演。
- 27日 ●ポーランド、ソビエト・ロシアに国境承認要求。
- 28日 ●全国タイピスト組合、結成。
- 29日 ●平塚らいてう・市川房枝ら、上野・精養軒で新婦人協会発会式(10月、女性同盟、創刊)。
- 30日 ●大阪砲兵工廠、最高八一円の年度未賞与支給。
- 31日 ●閣議、東京高商を東京商科大学に昇格決定。
- 31日 ●山田耕伴ら、日本作曲家協会を設立。
- 31日 ●早大、ロシア文学科を設置。



▲加藤総裁、政府弾劾(4月20日)大阪の憲政会大会で、原首相の普選つぶしの解散など悪政を指摘、党員に檄を飛ばした。しかし翌月の総選挙は惨敗する。

▲株価大暴落(4月)3月に続いて7日から各地取引所が休業、13日には再開(写真)されたが、翌日から再び休業。大戦景気は一転、戦後恐慌となった。



「写真通信」

▼ハワイの日本人労働団体が賃上げ要求デモ(4月3日)オアフ島の砂糖耕地で働く日本人の日給は77セント。 ranchのあかない交渉に、とうとう同盟スト、デモ行進。



「写真通信」



「写真通信」

▶ムスタファ・ケマル、臨時政府大統領に(4月23日)アンカラにトルコ大国民議會を召集、第1次世界大戦での敗北によってスルタン政府が認めた植民地化を否定、新政府樹立を宣言(写真右)。

「イラストレーション」

▶初の高等学校対抗競漕(4月6日)隅田川に5校が参集。河岸からの熱い声援の中、予選を勝ち抜いた一高と二高が決勝戦を行い、1艇身の僅差で一高が優勝した。写真は一高と三高の予選レース。



「写真通信」

▲陸軍少佐・東久通宮稔彦(32)、フランスへ出発(4月19日)仏国陸軍大学へ留学のため、前夜東京駅から列車に乗り、この日の朝、神戸着。仏船で出帆(写真左端)。7年間帰国せず、問題となった。



「写真通信」

▲ローマ-東京間飛行に成功(5月31日)イタリア人飛行家のフェリッ、マシエロ両中尉操縦のスピタ210馬力2機が、世界初、2万キロの長距離飛行を達成。大阪経由で東京・代々木練兵場に到着。

▲アントワープ五輪へ選手団出発(5月14日)8月の開会をめざし選手ら14人が横浜港を出発、米国経由でベルギーに向かった。写真・後列右から二人目がマラソンで期待された金栗四三。



「イラストレーション」

▶第1回メーデー開催(5月2日)1886年に米労働団体が8時間労働制を要求し、デモを行ったのが起源。その国際的行事が日本へ。在京18団体、1万人が上野で集会。



横浜開港資料館蔵



証言・あの日この日 武者小路実篤(35)

6月2日(水)「赤ちやんはまだ知らん、もうこのハガキがつく迄には生れてゐること、思ふ、幸福を祈る。君は急がしいこと、思ふがついでのあり次第先日話した内1500yen前後都合のいい、数だけ送つてほしい。／困つてゐる」

武者小路実篤『武者小路実篤全集』第18巻

宮崎県に「新しき村」を建設中の武者小路実篤は、この頃、資金不足に悩まされ、毎日の生活資金にも困るありさまだった。いろいろ工夫を試みるが、なかなか資金不足は解消されない。この日も、旧友・志賀直哉に緊急の借金催促のはがきを書く。そして、入れ違いに直哉からもはがきが届き、実篤は早速2枚目のはがきを書く。「正直な処くらしの方に金が少しあるので矢張り皆で5000以上君の云つてくれた、け送つてもらふことにしたい。5000円とはかなりの大金である。(山崎行太郎)



「イラストレーション」

▲ポーランド軍、ウクライナへ侵攻(4月25日)国家元首・ピウスツキ(写真右)が反ロシア親ドイツ政策を実施。赤軍を敗走させたが、反攻にあい、結局、休戦協定へ。

▶茂木商店倒産(5月24日)生糸に始まり多角経営に成功した横浜の大貿易商が、機関銀行・七十四銀行ともども戦後恐慌で破綻。写真は、総帥の惣兵衛。

横浜開港資料館蔵

大正9年4月

- 1(木) ●通信 ●大正9年4月の一電報料を度外視し、郵便局、紙幣製造工場の検査を廃止。
- 2(金) ●米市 ●シカゴで鉄道労働者スト(全米に拡大)。
- 3(土) ●法政 ●大学昇格とともに文学部新設を決定。
- 4(日) ●日本軍 ●ウラジオストク占領。
- 5(月) ●東京市電 ●電賃上げ決定(6月から片道八銭)。
- 6(火) ●シベリアのチタでロシア共産党主導の蜂起(シベリア共産党、樹立宣言)。
- 7(水) ●株価暴落 ●各地の株式取引所二日間で休業。
- 8(木) ●小倉 ●現 伊勢丹、民間飛行家、後藤勇吉に委嘱し初の空中広告を行う。
- 9(金) ●伊勢丹 ●伊勢丹の国際海員労働会議代表に内田嘉吉、松岡均平が決定。
- 10(土) ●日銀 ●財政救済の非常貸し出しを声明。
- 11(日) ●日本軍 ●北部滿洲ハイルでチエコ軍と衝突(ハイル事件)。
- 12(月) ●縮緬の本場 ●京都・奥丹後地方の機屋九五〇戸、織工二万人の半分以上が休業、と新聞に。
- 13(火) ●商品相場 ●東京米穀・大阪三品取引所は15日から、横浜生糸は16日から休業。
- 14(水) ●煙元 ●煙元の町八王子も火が燃えたよう、と新聞に。
- 15(木) ●日大 ●各料の専門部に初めて女子の入学許可。
- 16(金) ●栃木伊勢丹 ●支払い停止(同様な銀行続出)。
- 17(土) ●芸妓 ●花代値上げに賛成組合大反対、と新聞に。
- 18(日) ●東久通宮 ●仏陸軍留学のため東京駅を出発。
- 19(月) ●連合国最高会議 ●伊のサンレモで開催(各国の委任統治領を決定)。
- 20(火) ●日銀 ●製糖会社に救済融資決定(続いて製鉄、産銅、絹織物、製糸、毛織物の各業種にも)。
- 21(水) ●内務省 ●マツサイジ営業の免許制など公布。
- 22(木) ●「尼港事件」 ●救援隊、北極太に上陸。
- 23(金) ●アンカラにトルコ臨時政府、樹立。
- 24(土) ●米国の民間救済使節団、二五人が来日。
- 25(日) ●東京市電 ●交通労働組一五〇〇人、待遇改善要求スト(解雇二〇〇人、組合敗北)。
- 26(月) ●政府 ●中国に山東問題交渉の促進を勧告。
- 27(火) ●農商務省 ●綿糸輸出制限令適用緩和を通過。
- 28(水) ●製本 ●製本、李王世子、李王と結婚。
- 29(木) ●日本軍 ●沿海州臨時政府と停戦協定。
- 30(金) ●上野警察署 ●増加する上京青年のため人事相談の案内板を駅構内に設置。

大正9年5月

- 1(土) ●生糸相場暴落 ●横浜取引所で立ち会い停止。
- 2(日) ●日本初のメーデー ●東京・上野公園に二万人。
- 3(月) ●広島 ●尾道ドックで修理中の汽船のボイラーが爆発、死者八人、重傷者九人。
- 4(火) ●東京市教育課 ●女性視学官の応募者なく、裁縫家事教育の企画がゆき悩む、と新聞に。
- 5(水) ●米国の武装強盗殺人事件で、伊移民のサッコとバンゼッティ逮捕(翌年、死刑判決)。
- 6(木) ●文部省 ●地方学務課に社会教育事務担当(社会教育主事)の特設を通過。
- 7(金) ●醤油 ●大暴落で一時的製造停止、と新聞に。
- 8(土) ●オフレコ ●将軍の叛乱軍、メキシコ市を占領(21日、カランサ大統領を殺害)。
- 9(日) ●合端 ●少し工夫すれば映画は日本の芸術を外国に紹介する媒体になる、と新聞に。
- 10(月) ●第一回総選挙 ●政友会二七八議席で大勝。
- 11(火) ●外務省 ●日米英仏の対中国新四借款団の合意成立を発表(10月16日、規約成立)。
- 12(水) ●樞密院会議 ●国勢院設置など勅令新制定九件、内閣軍需品など廃止六二件を可決。
- 13(木) ●八幡製鉄 ●不景気で職工二万五〇〇〇人の給料一カ月分約九〇万円支払い窮す、と新聞に。
- 14(金) ●オリピック選手団 ●四人、ベルギーへ出発。
- 15(土) ●鉄道院 ●省に昇格(初代鉄道大臣、元田肇)。
- 16(日) ●第一回全国実業団野球大会 ●兵庫県の鳴尾球場で開催。
- 17(月) ●全国書籍組合連合会 ●創立。
- 18(火) ●富士 ●身延鉄道、甲斐大島・身延間開通。
- 19(水) ●新渡戸稲造 ●国際連盟書記局長に就任。
- 20(木) ●佐原製作所 ●設立(のくち式機械を継承)。
- 21(金) ●失業保護 ●緊急だが調査が杜撰、と新聞に。
- 22(土) ●中国 ●山東問題で直接交渉拒絶の覚書を提示。
- 23(日) ●インド ●ネパール共産党、スマランで創立。
- 24(月) ●茂木商店の破綻 ●七十四銀行休業。
- 25(火) ●東京市の危険道路改修工事に三〇〇万円の補助。
- 26(水) ●横浜 ●糸糸貿易同業組合、製糸業に操縦要望。
- 27(木) ●大阪の綿糸商 ●輸出糸組合結成。
- 28(金) ●大原社会問題研究所 ●「日本労働年鑑」刊行。
- 29(土) ●東京市立結核療養所 ●開所式。
- 30(日) ●伊の飛行家 ●初の伊日間長距離飛行に成功。
- 31(月) ●戦艦「陸奥」 ●横須賀海軍工廠で進水。二万人の見物客、事故で死者一八人。



CORBIS-BETTMANN・PPS

▶ウィンブルドンで清水善戦(6月30日)デニスの全英選手権初出場の清水善戦(29)が、米国が誇る超人・チルデン(写真=27)に挑戦。「東の国の小さな偉大なプレーヤー」とその敢闘をたたえられた。

◀名古屋電鉄、車庫焼失(6月7日)運転終了後の深夜、漏電により出火。車庫内に多量の重油があったため、約1500坪の建物がちまちま火の海となり、格納していた電車91両を焼いた。

▶尼港殉難で托鉢(6月21日)ニコラエフスクで日本人捕虜が、パルチザンに惨殺されたことわると、国内は殉難者追悼や遺族弔慰の演説会で盛り上がった。浅草観音大慈会では慰問の托鉢団が出発。

▶初の「時の記念日」(6月10日)天智天皇が漏刻(水時計)を初めて使った故事にちなんで、生活改善同盟会が主催した時間尊重の宣伝日。東京教育博物館の「時」展覧会では、正午に鐘を鳴らした。



「写真タイムス」



「写真通信」



▶松竹キネマ、蒲田撮影所オープン(6月)興行界の支配的地位を占めた松竹が、映画進出をめざし、ハリウッドからカメラマンなどを招いて本格的製作を開始。

◀斎藤茂吉(38)、咯血(6月)大正6年から自分が精神科部長をつとめる県立長崎病院に入院。写真右から見舞客の土橋青村・島本赤彦と茂吉夫妻。翌年、海外留学に出發。

「写真通信」



「写真通信」

「現場」を歩く

山本徹美

上野

「埋め立て反対」が残した
不忍池保護の「ゴースト」

大正九年六月二十八日、東京市会の上野公園を内務省からもらい受ける決定を下した。「読売新聞」(同月二十九日)が、田尻稲次郎市長の談話を載せている。「我輩の意見として云へば最も処分に関するは不忍池である、池は埋立てるならば埋ても差支ないとも思へる、其の訳は池へ流れ込む藍染川の水が腐りかけてゐるから埋めることは衛生的でもある」

田尻市長の発言にあるように、不忍池には、根津、動坂あたりから水田や工場の排水などを集めた藍染川が注ぎ、あふれた水は南東にある忍川から下谷の三味線堀を経て、隅田川へと注いでいた。不忍池の汚染はかなり酷かったようだ。「藍染川の汚水が流れ入るので、不忍池もいはば大きな下水貯留所の観があつて、(中略)夏の夜頃は臭臭鼻を衝いて、衛生上看過すべからざる有害ガスが発生」(「東京朝日新聞」同年六月一六日)

上下水道、衛生、運輸交通と、今でいうインフラ整備を公約に掲げた田尻市長にしてみれば、汚染された不忍池など埋め立てて「住宅地」となる。が、折しもその前月には赤坂・弁慶橋の取り壊しをめぐって世論が猛反発、六月七日の市会では調査委員会も反対したばかり。当然、学者や政界から埋め立て反対の声があがる。そこへガス料金値上げ反対運動、道路工事汚職と公約とは裏腹の事態が相次ぎ、田尻市長は同年一月、辞職。不忍池埋め立て案は自然消滅した。

再々、埋め立ての危機に

不忍池を訪ねてみた。池は三分割されていて、南側の「水上音楽堂」に面しているのが「蓮池」、西は半月形の「ボート池」、北が「鶴の池」という。どこも野鳥が多く、パン屑をユリカモメやバンなどを与えていた老婦人から、懐旧談を聞く。

「敗戦直後の昭和二年頃、蓮池は水を抜いて埋め立て、稲を植えたんです。」「上野



▲周辺に高層の建物がふえた現在の上野・不忍池。大都会に残された、鶴の繁殖地としても貴重である。但馬一憲



▲大正後期から昭和初め頃の上野池。水源だった藍染川は、関東大震災の復興事業で埋められた。

- 大正9年6月
- 1 火 ● 閣議、シベリアからの撤兵方針を決定。
 - 2 水 ● 日本酒造協会、四大学で創立。
 - 3 木 ● 米市場暴落、一俵三円台に(最高五円)。
 - 4 金 ● 尼港救済派連署、ニコラエフスク占領。
 - 5 土 ● ハンガリー、連合国とトリアノン調和条約に調印(領土の四分の三を失う)。
 - 6 日 ● 有島武郎著「惜みなく愛は奪ふ」刊行。
 - 7 月 ● ジュネーブで万国婦人参政権者大会、開催。
 - 8 火 ● 名古屋電鉄車庫で火災、電車九両を焼く。上原勇作参謀総長、チタ方面からの撤兵に不満で辞表提出(却下)。
 - 9 水 ● 菊池寛「真珠婦人」を「大阪毎日」東京日日新聞に連載開始(通俗小説ブーム)。
 - 10 木 ● 第一回「時の記念日」。
 - 11 金 ● 日英同盟、無改訂で継続決定(英米も同意)。
 - 12 土 ● 中国の民衆、日清汽船「武陵丸」と湘潭出張所などで掠奪(湖南事件)。
 - 13 日 ● 友愛会紡織労働組合、東京・亀戸で発会式。
 - 14 月 ● 北海道の夕張炭坑で爆発事故、死者一九人。
 - 15 火 ● マルクス著「高貴者之罪」資本論刊行。
 - 16 水 ● 東京府、神田に中央職業紹介所を開設(この年、全国に四四カ所が新設)。
 - 17 木 ● 広島で県教育大会、開催(10月福岡市、京都府、11月大阪府など、全国各地で開催)。
 - 18 金 ● 尼港事件に対する内閣訓演説会、東京・上野公園で開催。
 - 19 土 ● 連合国、ハイス・ブローニウ会議開催(独の賠償金二六九億、四二年賦と決定)。
 - 20 日 ● 日本にプロ野球を組織する動き、と新聞に。
 - 21 月 ● 東京絹毛紡織染工場、解雇された職工三五〇人が押しかけ暴動。
 - 22 火 ● ギリシャ、トルコのケマル軍を攻撃開始。
 - 23 水 ● 衆議院の中立議員二五人、甲申倶楽部を結成。
 - 24 木 ● 自動車の新取締り、小学校付近は徐行、電車客乗降の際は停止、と新聞に。
 - 25 金 ● 日本興業銀行、日興證券を設立。
 - 26 土 ● 総経費七〇〇万円、一〇年計画で東京帝大の研究機関を充実、と新聞に。
 - 27 日 ● 全国商業会議所、改正所得税法延期を要請。
 - 28 月 ● 東京の銭湯業者、水道値上げで市議会に抗議。
 - 29 火 ● 第四回特別議会議召集(7月1日、開会)。
 - 30 水 ● ウィンブルドンテニスで清水善戦、優勝した米国のチルデン選手に善戦。

ベストセラー

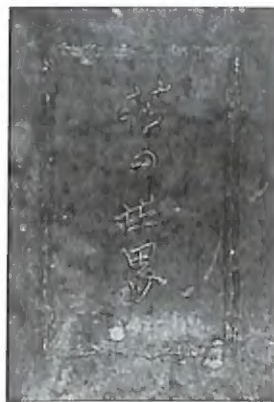
若者向け総合誌「新青年」 「世界改造」を掲げ創刊！

この年一月、若者向けの総合誌「新青年」が創刊された。巻頭で、読者たる青年に向けて「国際連盟よ、デモクラシイよ、世界改造の声は潮のごとく、極東のわが日本の岸辺を打ち、われら青年の血を湧かしむ」といった檄が飛ばされた。そして巻末に「次の戦争」と題する特別附録を組み、「世界政策と日米の衝突」「経済上より見たる日米戦争」など時代の動きを直接反映させた論文を、陸海軍の幹部が執筆した。一方で、若者向けの雑誌らしく、「長篇小説・日米戦争未来記」や「米海軍勢力一覽表」といった興味本位の記事もつけ加えられていた。フィクションでは、長編の探偵小説「白骨の謎」（保篠龍緒）やSFの色濃いつ科学小説「世界の終り」（桐野繁花）、歴史小説「三浦按針」（池田大伍）など、ワールドワイドなストーリーが展開され、若い読者を引きつけたのである。

同じ年の六月、有島武郎の「惜みなく愛は奪ふ」が、著作集の第一集として刊行された。「私は涙みに来た、而して暫く渦紋を描いた。私は再び流れ出よう。私はまづ、愛を出発点として芸



▲「新青年」創刊号
(博文館、30銭)



▲「苦の世界」(聚英閣、2円)



▲「惜みなく愛は奪ふ」
(叢文閣、1円30銭)

術を考へて見る」という一節を記すなど、有島武郎哲学の集大成とも言える一巻だった。同時に、その刊行方法として、「書冊の形である私の創作感想等の発表はこの『著作集』のみに依ること、します。私の生活を投入するものはこの集の外にありません」と言い切った。

また、時代がどのような動きを見せようとも、そこからまぬがれることができない浮き世の苦しみ、リアルに描いた宇野浩二の「苦の世界」が刊行され評判を呼んだ。自分の母親と、芸者屋から逃げ出してきた女と一緒に暮らす無名の画家が、女の強烈なヒステリーに悩まされる日々を淡々と描いており、むしろユーモアさえ感じられる小説だった。

スターと名場面

谷崎潤一郎が映画製作に本腰 義妹・葉山三千子もデビュー！

この頃になると、エンターテインメントとしての映画製作が本格的になってきた。芝居を写し撮るという発想は影をひそめ、映画独自の世界が展開されようとしていた。芝居の松竹がこの年、松竹キネマを創設し、あわせて東京・蒲田に撮影所を設けて映画製作に乗り出したのも大きな動きだった。その蒲田撮影所で「島の女」（木村錦花監督）を撮影、公開したのが松竹第一回作品だった。この製作にあたって、松竹は映画のノウハウを導入しようとして、アメリカ映画界の第一線で活躍していた日本人カメラマン・ヘンリー小谷を招き、スタッフに加えた。



▲「島の女」では、川田芳子(左)がヒロインとして登場した。

動きが目立った。谷崎潤一郎(原作)が、アメリカ帰りのトーマス栗原(監督)とのコンビで作った作品「アマチュア倶楽部」(製作・大活)も、この年に製作、公開されている。この作品からは谷崎潤一郎の義理の妹にあたる葉山三千子がデビューし、そのエキゾチックな容姿で人気女優になっている。

また谷崎がかねてから映画に適していると考えていた泉鏡花作品の映画化も、谷崎みずから脚色とトーマス栗原の監督で実現した「葛飾砂子」(大活)がそれで、谷崎にとっては大きな意義を持つ映画となった。



▲「葛飾砂子」でヒロイン役を演じた人気女優・上山珊瑚(下)と中尾鉄郎。



▲「アマチュア倶楽部」でデビューし、人気女優となった葉山三千子。

モノ語り'20

「日本人向きの創意をこらして定着！」 「山式眼鏡」バンドカメラ「アイデアA」、 睡眠薬「プロヴァリン」



▶輸入ガストープが登場
この頃、輸入品として日本に登場したものに、「英国製IGガストープ」がある。ストーブの前面に設置された耐火粘土製のチューブを熱し、その放射熱で室内を暖める構造で、「お客様の帰る時に漸く暖くなる様な炭火とは雲泥の差」の暖房効率が売りだったが、デザインも洒落たものが多かった。写真のもので、定価55円だった。
がす資料館提供

▶ハンディタイプのカメラ この頃、ハンドカメラと呼ばれたタイプのカメラ「アイデアA」が、小西本店(現・コニカ)から発売された。三脚を使用せずに、手に持って撮影できるところに大きな特徴があった。感光材は手

札判の乾板で、レンズやシャッターは外国製。小西本店は、この頃、「アイデア」という名の数多くの国産カメラを製造・販売していた。
日本カメラ博物館蔵 大畑俊男

▶洗濯石鹸が使われるようになってきた この頃、販売されていた洗濯用の石鹸は、魚油臭があるなどの欠陥を抱えていた。これを改良し市場を獲得したのが、ライオン石鹸(現・ライオン)の「植物性ライオン洗濯石鹸」で、発売当初は無包装の棒状石鹸だったが、後に、写真のような商品名の入ったパッケージがほどこされて販売されるようになった。発売当初(無包装・棒状)の価格は、並型が20銭、大型40銭だった。
ライオン史料センター蔵 奥村健太郎



▲日本人向きの眼鏡に人気 両眼のレンズをはさむ部分が直線的だったのを、鼻の低い日本人向けに湾曲を持たせた「山式眼鏡」が、この頃にはすっかり定着した。眼鏡の上辺ではなく、ほぼ中心部が湾曲しているので、鼻にしっかりとかがって実用的だった。
めがねの博物館蔵 平山亮



たばこと巻の博物館蔵

▶平和への願いが反映したタバコ 第1次世界大戦の終息を記念して、専売局(現・日本たばこ産業)は、平和への願いを直接反映させた「ピース」を発売した。両切りタイプで、10本入り小箱が25銭、50本入り丸缶ラベルが1円25銭だった。現在販売されている「ピース」とは、まったく別のタバコである。

▶副作用のない睡眠薬が売れた 当時評判のよかったドイツ製の催眠鎮静剤「プロムラル」を国産化した「プロヴァリン」(後に「プロバリン」と改名)が、日本新薬から大正4年に発売されて、この頃には、胃腸障害のない鎮静剤、習慣性の少ない催眠剤として売り上げを伸ばしていた。輸入品が品切れとなっていた状況も、有利に働いた。写真は、昭和4年頃に発売されていたもの。



ようやく普及し始めた洗濯石鹸

この頃、一般家庭では、灰汁やサイカチ(マメ科の落葉高木)のサヤを煎じた汁が洗剤として用いられることが多かった。石鹸は、もっぱら洗顔用のものと、とらえられていた。価格も、高価な印象をまねがなかった。しかし、次第にその効果が認められるようになり、また同時に洗濯板が普及して、大正も末頃からようやく、洗濯板に洗いをのせ、そこに洗濯石鹸をこすりつける洗いが一般的になってきたのである。

棒状の洗濯石鹸を売りこむこの広告では、まだ洗濯板は描かれていない。



澤田正二郎(二八)

殺陣師段平とのコンビで 剣劇「国定忠治」大当たり!

◀新国劇きわめつきの名狂言「国定忠治」の澤田正二郎。小松原決闘の壮絶な立ち回りは、劇界に新風を巻き起こした。

前年八月の初演から絶賛を博した新国劇の「国定忠治」は、大正九年に入っても人気は衰えず、大阪・道頓堀の弁天座を中心に上演され盛況をきわめた。そして七月には、舞台を浪花座に移して「井伊大老の死」を上演、連日大入りとなり、澤田正二郎(二八)が主宰する新国劇は新たな時期を迎えたのである。



「国定忠治」が絶賛をあびた理由は、市川段平の斬新な殺陣と、新国劇の創立者で忠治を演じる澤田正二郎の、リアルでテンポの速い演技にあった。殺陣師段平の名で知られる市川段平は、もとは歌舞伎役者で、軽業師的なトンボが得意だった。当時、澤田の新国劇は大阪松竹の専属で、社長の白井松次郎(四一)が、

段平を新国劇の頭取兼殺陣師として送りこんでいた。この段平の殺陣に澤田が命を吹きこみ、壮絶な剣劇の舞台を生み出していたのである。

澤田正二郎は、明治五年五月二七日、滋賀県大津市生まれ。育ったのは東京で、開成中学(現・開成高校)五年のもう卒業もまもない時、ふらりと出かけた浅草で見た芝居が、演劇に興味を持つきっかけになった。俳優になろうと決めたのは、小山内薫の自由

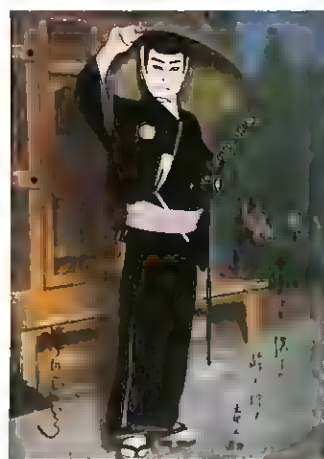
劇場の試演を見た時である。明治四二年、早稲田大学文科高等予科に入学。坪内逍遙の知遇を得て、在学中から演劇の世界に飛びこみ、翌四三年、逍遙が主宰する文芸協会の第二期生となった。しかし、澤田の本格的な舞台への登場は、大正二年の文芸協会分裂によってできた芸術座に所属してからである。島村抱月を主宰者とする芸術座は、翻訳劇を主体に、松井須磨子(三六)を主演女優とし、その相手役に澤田を起用した。しかし、須磨子との感情的な対立から澤田は芸術座を脱退。以降、いろいろな劇団を転々とすることになる。

澤田が新国劇を結成したのは、大正六年四月に東京の新富座で大衆演劇を中心に旗揚げ興行を行ったが、結果は惨憺たるものだった。日夜借金取りに追いまくられる日々が続き、みじめな生活を送る澤田たちに届いたのが、京都・南座での公演の話だった。勇躍、京都に乗りこんだが、観客の不入りはあいかわらず。そんな存亡の危機に立たされた劇団に転機をもたらしたのが、大正八年の行友李風(四時・四二歳)という座付き作者の加入だった。剣劇物を主体とした李風の作品は好評で、特に、同年四月には新しい殺陣の型を作りあげた「月形半平太」が成功、それに、八月には、以降新国劇の代表的演目となる「国定忠治」が大当たりして新国劇を隆盛に導いたのである。

関西を席巻した澤田は、大正一〇年六月、念願の東京に凱旋し、明治座での公演が実現。実戦さながらの激しい立ち回りを身上とした剣劇は、大阪だけでなく東京でも受け入れられ、新国劇の名は人々の中に定着した。



◀「ザフシヨ」最大の当たり役、「大菩薩峠」の機竜之助。初演の東京明治座を連日満員にした。



そして、新国劇の人気を絶頂に押し上げたのが、一〇年二月、中里介山の「大菩薩峠」の上演だった。主人公・机竜之助を演じる澤田のニヒルな風貌がさまざまに、澤田は当代きつての俳優の地位を確立するのである。

澤田の演技について、新国劇の最長老である島田正吾氏はこう語る。

「それはもう、見る人に大きな魅力を感じさせるもので、これからもたくましく生きようという意欲を与えてくれるような舞台でしたね」

昭和四年三月四日、中耳炎の手術後、高熱を発した澤田は急性化膿性脳膜炎を併発、三六年の短い生涯の幕を閉じた。この突然の死に、新聞各社は号外を出し人々に澤田の死を知らせた。



▲大正一三年 東京 赤坂にあった演技座の集屋で。この年、澤田は「国定忠治」「月形半平太」で映画にも進出、当代きつての人気俳優の名をほしいままにした。



▲1920年、ビアリッツのシャネル。彼女の店は仕事場に60人ものお針子が働くほど繁昌し、ファッション界での名声は目覚ましいほどに高まっていた。

決定的瞬間

ココを世界に押し上げた傑作 ジンプルかつ挑戦的に 香水「シャネルNo.5」誕生！

スポーティーなファッションで、ポケットに手を入れて立つガブリエル（通称・ココ）・シャネル。三七歳。場所は、フランス南部のリゾート地・ビアリッツの海辺である。彼女がかぶっている帽子は何の飾りもなく、スカート丈は靴から二〇センチほど。くるぶしが見えるスカートは、当時としては、きわめて挑戦的なファッションであった。

一九〇年にパリで帽子店を開いたシャネルは、従来の装飾過剰の植木鉢のような帽子を否定して、ジンプルで美しい帽子をデザインし、少しずつだが新しい顧客を開拓する。一九一三年にはイギリス人実業家、アーサー・カペルの出資を得て、海辺のリゾート地・ドーヴィルに帽子店を開く、そして、第一次世界大戦のためにパリから疎開してきた上流婦人向けに、スポーティーな服を作り人気を集めた。

この当時のシャネルの服の特徴は、柔らかな素材（ジャージー）を使い、スポーティーで行動しやすいデザインを基本にしていることだった。従来の装飾が長く一人では歩けないような「不自由な豪華さ」から、「働く女性」の美しさをめ

ざすもので、彼女自身、当時のことを「一つのモードは終わりを告げ、もう一つのモードが生まれ出ようとしていて、その時代にわたしたい」と（シャネル20世紀のスタイル「文化出版局」と語っている）。そして、三年後の一九一六年にはビアリッツで、番目の店を開店。カーディガン・スタイルのシャネル・スーツを創作して時代の最先端を走るようになる。

一八八三年八月一日、ロワール河にそったソミュールという田舎町で生まれた彼女は、幼くして母を失い、悲しい青春時代を送る。しかしそうした中でも、服装に対しては独自のセンスを磨き、男物のシャツやスポンを工夫して着こなし、自分の帽子を作り、「ポケットに手を入れて」歩いていた。女性がポケットに手を入れて歩くのは時代に抵抗し、自立したいと願うサインでもあった。「将来はパリに出て自分の才能を試したい」という希望を失わなかったシャネルは、一九二〇年にはパリ・カンボン通りに婦人服の新しい店を開き、働く女性のためのデザインを次々と発表するようになる。

彼女の人生には、コクトー（詩人・作家）、ディアギレフ（ロシアバレエ団の

主宰者）、ウエストミンスター侯爵（イギリスの大富豪）など、多彩な協力者が登場してくるが、彼女を「世界のシャネル」に押し上げる決定的な力となったのは、調香師のエルネスト・ボーとの出会いであろう。この年、一九二〇年に南仏でボーに出会ったシャネルは、さっそく自分の作る服に似合う贅沢な香水の製作を依頼した。ボーは、ジャスミン、スズラン、サンザシ、イチハツなどの花精にアンバー、ムスク、さらに天然の炭化水素から抽出したアルデヒドを加えた二系統の香水一〇種を試作。一〇種の香水は試験管に一五、二〇、二四の番号をふり、シャネルに届けられた。シャネルはこの中から即座に、ナンバー五と...を選んだのである。

ガラス製のジンプルな容器に入れられて翌一九二一年から売り出されたこの香水は、「寝る時には何を身につけて寝る

のですか？」「『シャネルNo.5』というマリリン・モンローのセクシーな言葉（一九五五年）とともに、ファッション史に不滅の名を残すことになった。



▶今世紀のモード界に君臨する、パリのシャネル本店。カンボン通り二一番地にある。



▲香水「シャネルNo.5」。デザイナーが香りをデザインした最初の作品であり、長時間香りが持続する画期的な商品だった。



▲1920年頃。彼女の居場所であったパリ郊外のカルシ1の街を、みずから提唱するスポーティーな服を着て歩くシャネル。右は友人の娘である。

エコール・ド・パリを彩る「素晴らしく深い白地」藤田嗣治、キキを描く！

◀「寝室の裸婦キキ」。1922年。油彩、130×195センチ。藤田は、「モンパルナスの恋人」と言われたキキをモデルに何点もの絵を描いたが、1920年の作品の所在は現在不明となっている。



パリに住んで足かけ八年になる画家の藤田嗣治（きき）は、大正九年・〇月、パリのサロン・ドートンヌに四〇号の油彩「裸婦」を出品した。なめらかな乳白色の地塗りの上に、きわめて細い穂先の筆による線で描かれた裸婦像は、妖しく魅惑的な光を放っていた。批評家たちは「グラン・フォン・ブラン（素晴らしく深い白地）」と言って絶賛し、「場中の釘」、すなわち会場の「目玉」となったのである。

この作品は、一般入場者はもちろん、ピカソ（三八）をはじめ多くの画家たちの目を釘づけにし、その日のうちに八〇〇〇で売却となった。喜んだ藤田はさっそくパーティーを開き、友人たちに大盤振る舞いをした。モデルとなったキキ（一九）に大枚を握らせると、彼女は街に飛び出して、モード雑誌から抜けたような衣裳に身を包んで戻ってきた。

た。この作品で使った独創的な技法について、藤田は後に自著「腕・本」の中で触れている。

「皮膚という質の軟かき、滑らかき、そしてカンバスそのものが既に皮膚の味をなせるような質のカンバスを考案することに着手した。第一がマチエールの問題であったが、私が輪郭を面相筆をもって日本の墨汁で油絵の上に細線をもって描いてみた。皮膚の実現、肌そのものの質を描いたのは全く私をもって最初とし、私の裸体画が他の人の裸体画と全く別扱されたことは世間の注目を受けた」

この「裸婦」の成功により、藤田はキスリング（一九）やバスキン（三五）、ヴァン・ドンゲン（四二）ら、エコール・ド・パリのきらめく群像の中で、躍人気画家となった。

藤田が生まれたのは明治・九年。陸軍一等軍医正（後に陸軍軍医総監）・藤田嗣章の次男としてであった。幼い頃から



▲キキを描く藤田。キキは藤田を「フー・フー」と呼び、気に入っていた。1953年にキキが52歳で亡くなると、藤田はエコール・ド・パリの画家としてはただ一人、葬儀に出席し、墓場まで行って埋葬の時に花を投げ入れた。

好奇心が強く、絵を描くのが好きだった明治四三年には東京美術学校（現・東京芸術大学）を卒業。その後、三年続けて文展に出品するが落選。そして大正三年六月、日本郵船「三島丸」で渡仏する。パリに着いてまもなく、当地で知り合ったスペイン人に誘われて、ピカソの家を訪れた。ここでピカソの立体派の絵や税関吏のアンリ・ルソーの素朴で心にしみる絵を見せられた藤田は、大きな衝撃を受ける。日本では黒田清輝の外光派を学んだ程度で、セザンヌもゴッホも見えていなかったのである。「絵画は実にかくまで自由でなければならぬのだ」と肝に銘じた藤田は、パリ在住の先輩洋画家・川島理一郎を通して、ヴァン・ドンゲン、モジリアーニ、ブラックらを紹介され、エコール・ド・パリの黄金期を歩み出すことになる。

第一次世界大戦が勃発したため、藤田は一年ほどロンドンに避難するが、大正五年には再びパリに戻り、モンパルナスのドラブル通りのアパートに住みついた。三〇歳まではと約束された父からの毎月一〇〇円の仕送りもたえ、スプーンもフォークも売り飛ばして絵筆で食事をしたなどという、伝説的な貧乏暮らしが始まったのである。

大正六年、モンパルナスで知られていた女流画家のフェルナンド・バレと結婚。藤田の才能を見抜いていたフェルナンドは、夫を売り出すために献身的につとめる。その甲斐あってか、画商と契約できた藤田は、課されたノルマをこなすために、労働者のように描きまくった。この頃の絵はアンリ・ルソー風のものである。「素晴らしく深い白地」の創造から、世界のフジタへと駆けのぼっていく姿は、いくつもの伝説的なエピソードに彩られている。しかし、藤田に対する好意と悪意の声は入り乱れて、死後三〇年経った今でもなお、正確な像を結んでいない。ひとつには第一次世界大戦中に帰国して描いた戦争画について、評価を保留されていることもあるだろう。藤田の甥で音楽評論家の藤原英了が、身近に見た藤田について語っている。

「フジタはまめな人であった。絵を描くのは早いほうで、あつという間に一枚の絵を仕上げてしまう。フジタを見ていると、何を描こうかと主題に苦しんでいる人が、不思議に思えるほどであった。何でも眼に見えるものを画にしてしまふ。それも細部から描きだして、あとからそれに加えてゆく手法である。藤田という人」

日本のあかり博物館

長野・小布施町

重要有形民俗文化財がズラリ！
松明、行灯など、揺らぐ「明かり道具の数々」

人が作りだす明かりは、もともと揺らぐものであった。これは、もっぱら電気的な明かりの中で生活する現代人が忘れてしまいがちな事実である。

しかし「日本のあかり博物館」には、松明や篝火などの野外の明かりから、行灯や石油ランプといった類の、電氣を使わない明かりの道具が数多く展示されており、明かりのもともとのありようを感じさせてくれる。

展示されているのは三

〇〇点ほどだが、収蔵点

数は一〇〇〇点余り。このうち九六〇点が、国の重要有形民俗文化財に指定されている貴重な道具で、しかも、金箱正美さんという一個人がコレクションしたものだというから驚かされる。

この金箱さんのコレクションを、一般に公開するため、昭和五七年、金箱さん自身を館長として開設されたのが、この「日本

のあかり博物館」なのである。

大正二年生ま

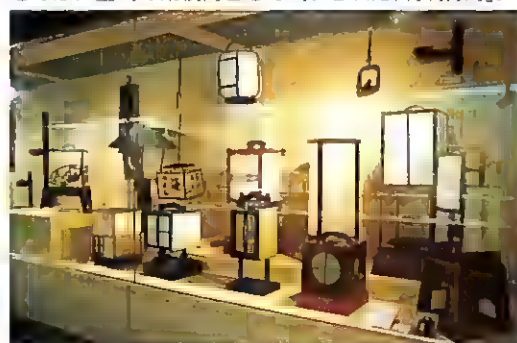
れの金箱館長は、

子どもの頃、骨

董屋の店先にあ

った行灯皿に魅

▼多種多様な行灯。右手前に見える脚台のない箱状のものは、室内の常夜灯として用いられた「有明行灯」。



せられたのがき
つかけで、明か
りの道具のコレ
クションに走っ
たのだという。

行灯皿というのは、行灯の光源装置から落ちる灯心の燃えかすや油を受けとめる皿で、簡単な絵などは描いてあるものの、どうということのない焼き物に見える。しかし金箱館長にとっては、揺らぐ炎の痕跡を受けとめてきた愛すべき灯火用具なのだ。

ところで行灯の灯心として重宝がられたのは、晝表の素材となるイグサの髄だった。毛細管現象による油の吸い上げ効率がいいからで、金箱館長の言葉を借りると「それまでしなっとしていたのが、油を吸うと生き返ったようにピンとなる」のだそうだ。

この灯心に吸いこまれた油が燃えて、周囲を明るく照らし出す。行灯には和紙が張ってあるから、それがスクリーンとなって光源の明かりを面に広げ、さらに周囲の空間をほんのりと明るくする。

その行灯も多種多様で、四角い枠の角行灯から、円筒形の丸行灯、屋内の常夜灯の役目をはたしていた有明行灯、ぶら下げの形の掛け行灯、店先に吊るす看板行灯などがある。八間行灯という大きなシャンデリアを思わせる行灯もある。八間四方を照らすから、その名が

▼携帯用行灯の「旅枕」。いろいろな旅の小道具と一緒に、小型の折り畳み式行灯も持って歩いた。



ついたという。五、六本の灯心を使う大型のもので、江戸時代から明治時代にかけて、大店の店先や銭湯、寄席などで用いられたと言われ、当時は「目もくらむばかりの明るさ」と表現されるほど明るく感じられる照明だったそうだ。

行灯のような和紙のスクリーンつきでなく、灯心を燃やすだけの簡単な明かりの道具として「たんころ」とか「ひょうそく」と称されるものがある。ちよつとした照明なら、これで十分用はたりたのだらう。小さいながらじりじりと炎を上げ、周囲を明るくする。

この種の明かりは、人の奥深くにひそむ感覚を、呼び起こすようなところがある。そんなことも感じさせてくれる博物館であった。

●日本のあかり博物館

長野県上高井郡小布施町九七二
番〇二六二一四七 五六六九
開館時間 九時半～一七時(冬期 一六時半)
休館日 水曜日、年末年始
入館料 一般三〇〇円

「金をもって人の資格を量るべきではない！」 3府31県で連日のデモ、集会 最高潮!「普選運動」と原内閣の陰謀



大正九年、高額納税者だけに選挙権が与えられる従来の制限選挙から普通選挙への改正を要求する普選運動が、日本列島を席巻した。二月には、連日のように集会やデモが行われ、にわか普選論者が急増。東京を中心に各都市は、物価高騰で生活苦にあえぐ労働者の、「我々は国家の宝なり」などと呼ばれる光景であふれた。

「奴隷から人間へ」と
「普選歌」を歌い叫ぶ

大正九年二月一日、大相撲春場所の上俵がそのままだる東京・両国国技館には、普通選挙促進のための国民大会(青年改造連盟が主催)に、労働者や学生ら約三万人が駆けつけていた。



▲野党の憲政会と国民党は、大正11年2月の第45議会にも普通選挙案を提出、請願行動を組織したが、与党・政友会により再び否決される。

▲大正9年1月18日、大阪・中之島公園で普通選挙期成関西労働連盟のデモが行われた。先頭に立つのは、尾崎行雄(左)と今井嘉幸。

▶大正九年二月、日の青年改造運動主催、普通促進大会に際し、連盟は東京市内四〇カ所にて一〇〇万枚の宣伝ビラを散布した。



▶大正8年3月1日、東京・日比谷公園で行われた普通選挙制度要求集会。普通運動が、大衆的な高揚を見せるきっかけとなった。
写真提供：左1氏等

三府一県で、計、四四回（開かれなかったのは、北海道、群馬、千葉、神奈川、福井、岐阜、三重、鳥取、島根、徳島、佐賀、長崎、宮崎）。運動の中心となった東京では、野党の立憲国民党・憲政会や、これと提携した政治団体が運動を先導し、関西では労働団体が主力になった。庶民の政治参加を奨励する声が高まったのは、学生が吉野作造のデモクラシー思想に惹きつけられ、「米騒動」（大正七

普選つぶしの解散 総選挙で与党圧勝

普選運動に参加した野党は、大義裁（六四）率いる立憲国民党が、財産資格をなくし、選挙権・被選挙権を満一〇歳に引き下げる大胆な普選案だったのに対し、加藤高明（六〇）が総裁をつとめる憲政会案は、独立の生計者に有権者を限るという保守的なものだった。

「生活問題でも経済問題でも教育問題でも、階級制度の弊が広がっている。金をもって人の資格を量るという事は、現代に通用すべきではない。この階級制度を打破し明治維新の精神を実現するものこそ、普通選挙である」——普選法案が衆議院に提出された一月、四月、説明にあたった立憲国民党の島田三郎（六七）は、そう演説した。



ところが、対する原敬首相（六四）は、「この普選案は階級制度の打破をめざし、現在の社会の組織に脅威を与える」と、六日に第四三議案を抜き打ち的に解散。総選挙に踏み切ってしまった。

「原首相は、いずれ普選を実施することになっても、今はまだ時期尚早ととらえていました。実際、彼は前年、普選の先延ばし策として、納税資格を三円に引き下げる大改革を行っていました。これは、民衆が政治に影響力を持つ事態、換言すれば天皇制をおびやかす急激な民主化は避けなければと、考えていたからです。そのため、原の暗殺後に普選が実現しますが、権力機構にダメージを与えないブレーキも一緒に仕込まれました」と語るのは、政治評論家の柚正夫氏である。最終的には、原首相が前年、意図的に選挙制度を大選挙区制から大政党内有利な小選挙区制に変えていたこと、政府の露骨な選挙干渉などが功を奏して、五月、〇日の総選挙で、反普選派の憲政会が、大勝利をおさめたのだ。

東京市京橋区で立憲国民党から立候補した関直彦（六二）の「七七年の回想」によると、選挙中、「今日でさえ番頭手代どもが、主人の命を聞かざる時節、主人と同様になつては始末に負えない」と支持を断られることも多かったという。ただし、東京などの大都市では、普選派の憲政会や立憲国民党が圧倒的勝利を

「諸君！時はあたかも、月、日、フランスの二月革命を想起せざるをえなない！」

雄弁家として知られる西岡竹次郎（二九）や各労働団体の代表者、各府県の代表者の熱弁に続き、「我ら民衆の威力により今期議会において普選法案の通過を期す」という決議文が可決される。夕方五時から、詰めかけた人々が、緒になつて、大提灯行列を開始。大旗や提灯を手に、与謝野晶子（四二）の作つた普選歌を歌う人、「奴隷から人間へ——我らに選挙権を与えよ——と叫ぶ人——全員が、日比谷方面へデモ行進していった。

普選運動は、この年、九月九日の私立九大学による無届け演説会で、事実上の火ぶたが切られ、月になるとほぼ連日、東京を中心に集会やデモが各地で行われて、運動は最高潮に達した。二月一日には、芝公園や上野公園で、万人規模の集会を開催。憲政会・国民党・無所属組によって、普選法案が第四三議案で上程された。四日には、警視庁の警戒態勢の中、民衆が議院を包囲する。

「議院前の民衆は、警官と揉み合っていたが、午後五時半ごろ、ついに森村自動車店の第一警戒線を関の声とともに突破し、その勢いすさまじく、つづいて正門前の第二警戒線をも打ち破って正門の扉まで押し寄せた」（水野石浜「普選運動血涙史」）

当時、警備にあたった警視庁の正力松太郎刑事課長（三四）後に読売新聞社長）は、私服刑事を潜り込ませて警官と衝突事件を起こさせたため、多くの逮捕者が出た。

ちなみに、大衆集会が開かれたのは、おさめた。納税三円以上の新有権者にねらいを定めた関などは、「（銭湯の）男湯女湯の仕切りをはずし、板の間にむしろを敷いて、飯の会場をしつらえた。翌晩になると、風呂場の演説は古今未曾有だ珍無類だというわけで、たちまち満員になり、意外の成功を博した」という。

質素な「銭湯演説」で江戸っ子の同情を集めた彼は、政友会候補に圧勝する。

とはいえ、与党・政友会（七八、憲政会（一〇）、立憲国民党（九、無所属四七）と、大勢で普選派が大敗したこの選挙を機に、運動は、一気に冷却した。結果的に、普通選挙法（有権者は、五歳以上の男子）の成立は、約五年後の大正一四年三月まで待たなければならなかった。

皮肉にもそれは、反体制運動をおさえるための「治安維持法」との抱き合わせで成立し、大正デモクラシー運動の終焉を意味するものもなったのである。



▲普選運動の中心人物、島田三郎（右）と関直彦（左）の対談。写真提供：島田三郎氏



▲モルガン銀行で爆弾爆発(9月16日)米・ウォール街に君臨する巨大財閥に照準。建物多数が破壊されて死者30人、負傷者100人を数えた。無政府主義者が犯人とされたが、逮捕されず。



証言・あの日この日

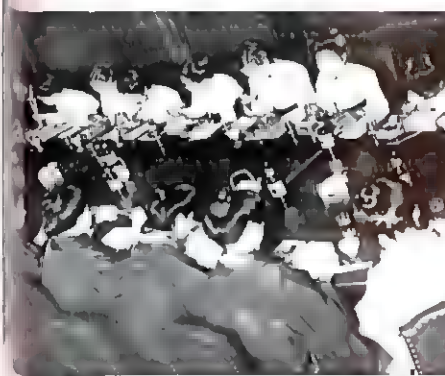
宮澤賢治 (24)

12月2日(木) 〈今度私は国社会
信行部に入会しました。即ち最早
私の身命は日蓮上人の御物です。
従つて今や私は田中智学先生の御
命令の中に在るのです。謹んで
此事を御知らせ致し恭しくあなた
の御御正を祈り奉ります。あまり
なざつたでせう〉(宮澤賢治「宮澤賢

この年、盛岡高等農林学校研究科を優秀な成績で修了した宮澤賢治は、担当教授から助教授に推薦されるが、それを辞退以後、定職にはつかず、無為の日々を送っていた。ところがこの日、突然、友人にあてて「国柱会」に入会したことを興奮状態で書き送る。国柱会とは田中智学を指導者とする、日蓮宗の過激な宗教団体で、彼は太正3年から法華経を熱心に読んでいた。そして翌年1月に家出、東京の国柱会本部を訪ねる（山崎行太郎）

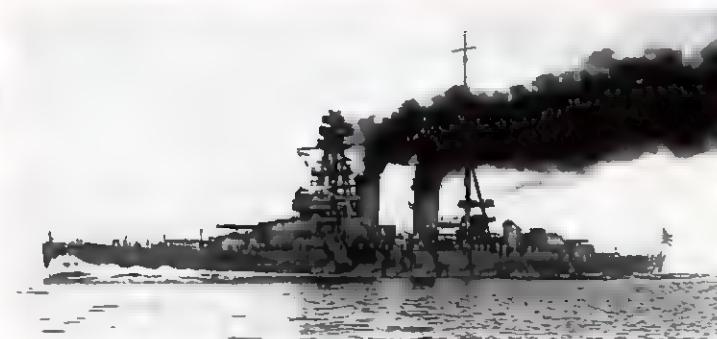


▶第1回国勢調査実施
(10月1日)日露戦争や
財政難で延期され、よ
うやく実施。氏名・性
別・生年月日などを調
査。総人口は7700万
人弱だった。写真は徳
島市新町宣伝隊。



11~12月

◆米国で世界初のラジ
オ定時放送開始(11月
2日)ピッツバーグに
ウェスティングハウス社
開設のKDKA局が、
午後6時から開始。ハー
ディングが当選をは
たす大統領選挙の開票
速報を伝えた。



▲戦艦「長門」が竣工
(11月25日)初めて16
インチ砲を搭載。常備
排水量3万3800トンの
巨艦が、呉海軍工廠で
完成。後に、直立して
いる第1煙突を屈曲さ
せた。写真は8月30
日、公試中の姿。



▲洋楽伝来50年記念
音楽会(11月20日)東
京・上野の東京音楽学
校で開催。日本音楽界
をリードする山田耕筰
(34、写真左)、本居長
世(35、右)らが出演。



▶最後のロシア内戦(11月16日)赤軍が、クリミア半島に拠ったウランゲリ将軍(写真)の反革命軍4万を撃破。3年半にわたって続いた内戦は終結した。



▲英軍「血の報復」(11月21日)ダブリンでフットボール観客席に無差別射撃、72人が死傷。前日のIRAによる謀報部員処刑の報復だった。これでアイルランド紛争は一層深刻化した。写真は、厳戒下のダブリン。



▶田山花袋(左)・徳田秋声(右)、誕生50年祝賀会(11月23日)文壇全体が発起。昼は東京・有楽座で島崎藤村らによる講演会、夜は築地・精養軒で晩餐会。自然主義文学の両雄の業績をたたえた。



▲米国カリフォルニア州で排日土地法成立(11月2日)賛成66万票、反対22万票の大差。日本人の土地所有は完全に封じられた。写真は「ここには日本人は不要」と書かれた看板。

◀九条武子(33)、上京の歓迎会(12月)竹柏会の歌人仲間と日本橋倶楽部で年忘れの宴。7月に上梓した処女歌集「金鈴」には、外遊中の夫を待つ身の孤愁が典雅に詠まれた。



▲後藤新平(63)、東京市長に(12月18日)道路工事疑獄事件で代議士が逮捕され、田所市長が引責辞任した後を受けた。満鉄初代総裁、内相などを歴任、辣腕市長の誕生だった。



▼日本社会主義同盟結成
(12月9日)堺利彦・大杉
栄・小川未明ら30人が発
起人になり、社会主義運
動・労働組合運動の団結
をはかろうとした。写真
は、警官に解散させられ
た翌日の創立大会。



▲シンガポールからゾウ到着
(12月)マレー半島で2歳の頃から王族の寵を受けたという「コロコロン」、15歳。大阪市立動物園が買い入れた。写真は、神戸港に向かう船上で。

◀シンガポールからゾウ到着
(12月)マレー半島で2歳の頃
から王族の寵を受けたという
「コロコロ」、15歳。大阪
市立動物園が買い受けた。写
真は、神戸港に向かう船上で。



大正9年11月

- 1月) 白木屋梅田出張所 大阪 梅田駅に開設
明治神宮鎮座祭 群衆殺到し死傷二八人
東京市道工事で疑獄事件 (26日) 田所楠次郎市長辞表提出 東京瓦斯株式会社発展
- 2月) 二九代米大統領 共和党のハーディン氏当選
米国 カリフォルニア州で 排日土地法成立
米国 ユニオンKKOKA局 初の定時放送を開始
- 3月) 栃木県佐野高女生 同盟休校 (4日)
- 4月) 大森 尾崎行雄ら 政界革新黨同盟会結成
初のムシ歯デー 日本歯科医師連合会が実施
官特別を廃止との通知 新聞に
- 5月) 労働者消費組合「共働社」東京に設立
8月) 全国高女校長会、二四二人参加して開催
9月) 全国の海員団体を結集させ、海員總同盟が組織されつつある、と新聞に
- 10月) 朝鮮教育令、普通学校の修業年限を六年に延長 (12日) 日本歴史・地理を教科に加える
- 11月) 大阪の購買組合「共益社」、事業開始
- 12月) 米田、ヤップ島は日本の委任統治領外との覚書を内田康哉外相に (19日) 反駁回答
- 13月) 振興策のために莫大な航空規制を、と新聞に
- 14月) 郊外居住者がふえ東京 山手線沿線と新聞に
- 15月) 国陸連盟案、回覧会、シムナーで開催
- 16月) ウランケル市事敗退 ロシア反革命に終止符
- 17月) 森永製菓、ドライミルクの製造開始
- 18月) 農工貯蓄銀行、取り付け騒ぎのため休業
- 19月) 東京府看護婦会連合会設立 発会式
- 20月) 関西労働組合連合会、労働 四団体で設立
- 21月) 英軍、R.A.に報復のためタリンのフットボール会館で無差別殺戮、死傷七人入
- 22月) 米・プロ野球球来日、ドイル監督一行三人
- 23月) 田山花袋、徳田秋声誕生五〇年祝賀会
- 24月) 大阪の河内紡織板持工場で賃上げ要求スト
- 25月) 戦艦「長門」呉海軍工廠で竣工
- 26月) 労働組合が運動費作りの石砕売り、と新聞に
- 27月) 新日本音楽大演奏会、本居長世と宮城道雄が東京・有楽座で開催
- 28月) 新潮社、「世界文芸全集」(二巻) 刊行開始
- 29月) 中国湖北省宣昌の日本人家屋が略奪、放火される (第一次宜昌事件)
●長崎県香焼炭坑坑夫、同僚の復讐要求スト
- 30月) 万国郵便条約、小包郵便物交換条約調印

大正9年12月

- 1 水 ●政府、閩島地方に警察分署開設を要求。29日。
中国非承認をおして設置し着手。
- 2 木 ●米大統領、フィリピンに独立をメッセージ。
- 3 金 ●内務省、社会事業の資料とするため貧困世帯
を徹底的に調査、と新聞に。
- 4 土 ●明大学生、学長不信任で授業放棄、大学側は
休校で対応。(13日)授業開始。
- 5 日 ●毛布の値段、原料下落と生産過剰で前年の半
額、今が買い得、と新聞に。
- 6 月 ●滋賀県の近江兄弟社、メンソレータム発売。
- 7 火 ●ドイツ独立社会民主党左派、共産党と台流。
- 8 水 ●習書から修身教科書の内容が変わる、と新聞に。
- 9 木 ●日本社会主義同盟、堺利彦、山崎今朝弥、大
杉栄らが結成を宣言(翌年5月28日解散命令)。
- 10 金 ●ウォルソン、オランダ、ノール、和貨を愛買。
- 11 土 ●安田善次郎の寄付で設立される東大講堂
設計中、と新聞に。
- 12 日 ●大学連合学生会館の対米問題国民大会、排日土
地法に反対し東京、上野公園で開催。
- 13 月 ●国幣同盟「國幣」を裁断所殺害する
- 14 火 ●原首相など政財界巨頭一四人、東京、若屋
での三浦梧楼主宰の忘年会に参加。
- 15 水 ●鉄道事業費などで国債約二〇〇万円を発行
- 16 木 ●農商務省、各種の労働規定を労働法が工場法
に統一する方針を審議会で決定。
●交通法規の全国統一、高路取調会へ手
続提出
- 17 金 ●国幣同盟「トインズ」を裁断所殺害する
の力加川北村に自らの住居を移す
- 18 土 ●後藤新平、東京中央銀行就任
- 19 日 ●東京府下の流感死亡二一〇人と、新聞に
- 20 月 ●海軍省、地震と台風に関わったヤブ島の状
況を発表、食料と建設資材の救助船を派遣
- 21 火 ●越後エニ二〇人、四条件要求スト、30日
- 22 水 ●武蔵小杉、町名変更
- 23 木 ●英議会、アイルランド自治法可決
- 24 金 ●政府「尼基事件で中国の陳謝賠償申し出」に話
25 土 ●帝国太字新聞、「串入新聞」創刊、創刊
26 日 ●山崎今朝弥、教育勅諭を論ずる
- 27 月 ●第四回通商會議、開会、同年3月26日
フクナナーの作品を、山田耕筰指揮で上演
- 28 火 ●日本楽劇協会、東京、帝國劇場、シーヤ
ワークナーの作品を、山田耕筰指揮で上演
- 29 水 ●仏社会党分裂、多数派が仏仏産業を組織
30 木 ●東京、早稲田の「稻屋街」が完成
- 31 金 ●警視庁、予備、五万円の消防衣を、新聞に

儀樂多市

流行語 新語、「職業婦人」登場！

◀東洋視察中の米議員団45人が、8月末、釜山から下関に入り、神戸・京都を経て奈良見物。春日神社を訪れ、鹿と戯れた。

「職業婦人」。大戦後の不況下、働く女性が増え、この年には全国タレント組合も結成された。そういう時代を背景に、「職業婦人」という新語が使われるようになったが、女性蔑視のニュアンスをこめて使われることが多かった。

「都合解雇」。サラリーマンが会社をクビになること。この年夏頃から、あちこちで首切りが始まった。

労働者は団結して抵抗することも可能だが、サラリーマンは「都合により解雇」というペラペラの紙が来れば、翌日から出社におよばず、このため、暮れには「都合解雇」が、サラリーマンの恐怖の象徴として使われた。

「生活改善」。学生などが生活態度を改めると約束する時、「生活改善します」と言った。ただし、口先だけの出まかせがほとんど。

教育

女性校長は二四歳
宮崎県の大英断

【宮崎発】 本県教育局は七月三日、わが国教育史上の一大英断を示した。それは師範学校第一附属小の訓導（教諭）・島原ツル子氏を古城常小小学校の校長に任命したこと。婦人教師をもつて校長に任命したのは、全国において、いまだその例を見ない。

しかもこの栄冠を獲り得た島原女史は芳紀・四歳、首席訓導を命じられた渡瀬ミツ子氏が二二歳、そして訓導・時住フエエ氏が二〇歳と、いずれも若き婦人教育家に学校運営をゆだねたもので、男子訓導はわずかに一人だけ。これは、教育方針があまりに女性的にかたよりすぎることを緩和するために、任せられたものである。同校教育の将来は、全国から刮目して見守られることになるだろう。

（日州新聞）七月五日



▲「当世百態」に収録された、吉岡平画「女給に恋した男」。1シーを4杯もお代わりして女給の気を引こうとするか、無視されている男

データ

一年で晴れが二日
異常気象の関西

この年は全国的に天気が荒れ、特に関西地方では晴れの日が少なく、暴風の吹き荒れる日が多かった。京阪神のお天気の日数をみると――

晴	曇	暴風
京都 二九 四六 四七		
大阪 二九 三四 一三		
神戸 二八 三五 一八		

（名古屋市会事務局編「総合名古屋市年表、大正・昭和編」）



CM100年 新聞CM「キリンビール」(明治屋)



▲明治屋が総代理店で全国販売。美人画第一人者の多田北鳥を起用した。



▲「福原養生堂」を「資生堂」に変えたのは前年未だ当時の厚紙製のディスプレイ。

三篇記事

ミルクホール人気の裏事情

東京市中に学生相手の下宿屋が急増し、早稲田大学の近くだけでも五〇軒を数えた。それでも学生の増加に追いつかないという、折からの物価騰貴とあって、あくどい下宿屋も横行した。

たとえば、食費までは手がまわらなくなったという学生が「間借りだけ」と言ったり、ただちに「出て行け」と言う。仕方なしに食事つきにするが、そのためにはどうしてもほかの副食物を注文しなければならぬ。下宿屋側は朝の膳を運んでくると同時に「何かご注文は」と言いつつ、副食物の注文を強制する。このため言いなりになっていると、一月に四〇円、五〇円もかかることになる。

その結果、最低の朝飯代を払っても朝食は食えず、ミルクホールからの物価騰貴とあって、あくどい下宿屋も横行した。



▲徳川頼貞(右から二人目)主催のヘイトウエン生誕一五〇年祭に向けて、徳川邸に大パイオルガンが設置された。

「ホンチ」とはネコハエトリ（ハエトリグモの一種）の俗称で、昔ぐらいの小さなクモ。四、五月頃、新芽の出そろったマサキの上に出でくるホンチを捕まえ、マツチ箱の中で戦わせる。じ、八秒の勝負だが、長い前脚で挑みかかる姿は精悍で、子どもたちはホンチをエサのハエ、霧を吹いた草と一緒に箱に入れ、いそいそと学校へ持って行った。〇〇年の歴史を持ち、鹿児島、高知のクモ合戦と合わせて、日本三大クモ合戦のひとつにもあげられていた。

（横浜ホンチ保存会「ほんち」）

世相

送迎バスでデパートめぐり
東京の珍流行

デパートのサービス競争が絶頂になったのは、大正九年頃だった。越が東京駅と日本橋の本店間に、四人乗りのバス（米岡・バックロード式）を走らせ始めると、上野の松坂屋本店も上野駅と万世橋駅で「どうぞ」とやる。ここには、越も「わが縄張り」とばかり車を出す。また銀座・松坂屋も新橋



▲7月1日、東京府下の荒川に水泳場が新設された。向井流の伊東師範が指導をし、小学生や付近の工員たちが利用。

はやり歌



叱られて
叱られて
あの子は町まで お使いに
この子は坊やを ねんねしな
夕べさみしい 村はずれ

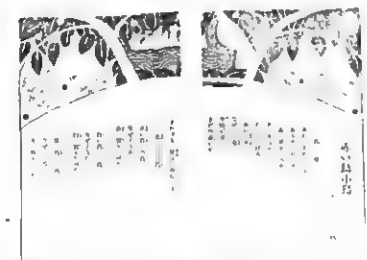
赤い鳥 小鳥
なげなげ赤い
赤い実を食べた

白い鳥 小鳥
なげなげ白い
なげなげ白い

こんなときが なきやせぬか
叱られて
叱られて
口には出さねど 眼になみだ
二人のお里は あの花を
越えてあなただけの花のむら
ほんに花見は いつのこと

赤い鳥 小鳥
なげなげ赤い
赤い実を食べた

白い鳥 小鳥
なげなげ白い
なげなげ白い



▲大正7年に鈴木三重吉が創刊した「赤い鳥」は、北原白秋、西條八十らの創作童謡を興隆させた。写真は「赤い鳥」の掲載誌面。



▲満洲（ウラジオストク）で常設高等小学校生二九人、春休みを利用して母国観光。敦賀から鉄道で上京、東京見物に。

この年の初もの
電車よけがねらい

●火災報知器 四月、東京・日本橋の三越前に設置。この年、日本橋界隈に、四基設置される。

●潜水艦 六月、国産初の潜水艦が、愛媛県神宮造船所で完成。

●ピノキオ 石田アヤ・文化学院院長が、童話ピノキオを日本に初めて紹介。

●列車の自動信号機 神戸・明石間に、マイルに一本ずつ、計九本設置。危険防止、安全進め、に注意通過のつを指小

名選手、ジョー・レス・ジョーも永久追放！ ワールドシリーズでの八百長が明るみに 大リーグの汚点「ブラックソックス事件」

ベーブ・ルースもそのフォームをまねたという天才打者、ジョー・ジャクソン。13年間の通算打率3割5分6厘は、大リーグ史上第3位。

CULVER PICTURES デジタルハウス



て、正式裁判での起訴を答申した。

その後、一〇月二二日には、シカゴ大陪審は三人の起訴を確定

その中には、前年のベ

ナントレースで二九勝

七敗の好成績を残した

エディ・シコット（三

六）ら投手二人、一塁

手のチック・ガンデル（三三）、強打者

として人気の高かった左翼手の「ジョー

レス」ジョー・ジャクソン（三三）ら八

選手が含まれ、ほかの五人は賭博師であ

った。ホワイトソックスならぬ「ブラッ

クソックス事件」の発覚である。

事件が起きたのは、前年一九一九年の

ワールドシリーズでのことである。ホワ

イトソックスの相手は、シンシナティ・

レッズで、ナントレースでも三位がせ

【事件を操った大物ギャンブラー、アーノルド・ロスとサイン。

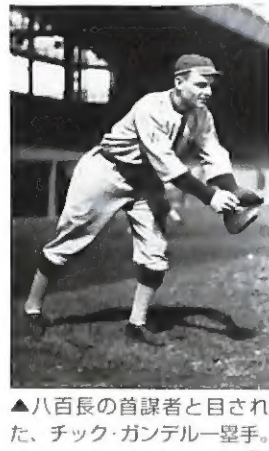


NEW YORK DAILY NEWS

【好守と強打を誇ったバックウイパー三塁手。



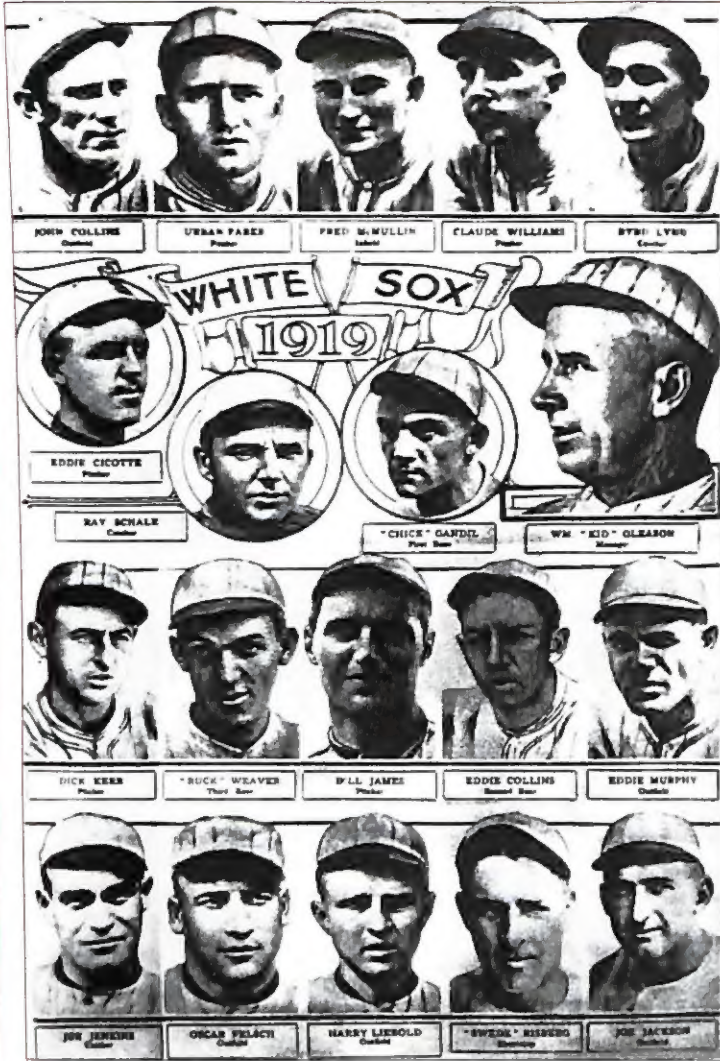
CULVER PICTURES デジタルハウス（左2点とも）



▲八百長の首謀者と目された、チック・ガンデル一塁手。



▲ホワイトソックスのエースだったエディ・シコット投手。



▲1919年のシカゴ・ホワイトソックスの先発メンバー。この年のホワイトソックスはスタ

「八百長疑惑に包まれた
ホワイトソックスの八人
「アメリカのプロ野球は草創期から賭博
といかに手を切るが大きな課題でした。
スター選手の追放はやりすぎだ、という
ファンの声もありましたが、あの時はや
むをえなかった。長い目で見れば、アメ
リカ国民も野球という聖域を築くうえで
プラスだったと思っっているはずだ」

「ブラックソックス事件」についてこう
語るのは、大リーグ事情に詳しいノンフ
イクシオン作家の佐山和夫氏である。
一九二〇年のアメリカンリーグの終盤
戦は、クリーブランド・インディアンス、
シカゴ・ホワイトソックス、そしてニュ
ーヨーク・ヤンキースが三つどもえの戦
いを交える、白熱した試合が続いていた。
とりわけ、レッドソックスから移籍した
ヤンキースのベーブ・ルース（二五）の
活躍がすさまじく、打率三割七分六厘、
ホームラン五四本、打点一二七を記録し、
「ローリング・トゥエンティーズ（激動
の二〇年代）」と「ホームラン時代」の
幕開きを告げた年となった。

この年の最終試合まで数ゲームを残し

た九月二九日、野球賭博事件を審理して

いたイリノイ州クック郡刑事裁判所大陪

審は、ホワイトソックスの有力選手を「不

法行為を犯した謀議」をくだたてたとし

このシリーズ、ホワイトソックスは最

初からおかしかった。コントロール拔群

をつかんだ人には一萬の賞金を与える

と対応する。しかし、噂の火元をさがす

内密の調査が進められるうちに、両リ

グ一八球団の中で最低の給料に甘んじて

いたホワイトソックスの八人の選手たち

が、賭博の黒幕だったアーノルド・ロス

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

を

「尼港の虐殺」の「発端」をあかした 「ロシア住民の手記」

佐伯修

「三月一日夜の二時、市民は機関銃と銃の轟きに驚かされたが、暁になって見るとそれが日本人によって開始された市街戦であることを知った」

アムール川（黒龍江）が間宮海峡に注ぐ河口の小都市・ニコラエフスク（**尼港**）は、サケ・マスなどの漁業を主産業とする街で、ロシア人の水産加工業者のもとで働く、中国人、朝鮮人などの労働者も多く、水産物を扱う商人など、少なからぬ日本人も住み、日本領事館もおかれていた。

そんなニコラエフスクが、トリアピン艦隊のバルチザンに占領されたのは、この年二月二九日。当時、市内にいたロシア白軍はほとんど逃走、それを支援する実質兵力三五〇人ほどの日本軍守備隊が、自称四〇〇〇人のバルチザンの中に孤立する形となった。



▲石田虎松副領事（前列左端）一家と日本領事館員たち。

の回答を迫られていたという。だが、正確には二日の午前一時三〇分を期して、日本軍はバルチザンの拠点を襲撃、逆に全滅の運命をたどる。さらにバルチザン側は、日本の民間人に襲いかかった。

「バルチザンは、クルバトフスカヤ街なる島田氏の宅に立籠った日本人を包囲し、砲火を以て襲撃し、その店舗を倉庫ぐるみ焼棄したが、その中には居留民会、取引所委員会があつた。焼かれた家の内には、洋服商の森山氏と医師の佐藤氏とが住んでいた」

蜂起から三日目、日本領事館が炎上する。

「バルチザンが語る所に拠れば、領事（副領事の誤り）は火事が起ると聞かれた窓口に立現れ、外交官として国際法に依り人格の不可侵権を保障されていることを声明したが、バルチザンはこれにお構いなく、直に射殺したということである。僥倖にも難を免れた領事のボーイの話に依ると、領事は火事が始まると直ぐに自分の妻を殺し、それから自殺したそうである」

この手記には伝聞も少なくないが、ニコラエフスクの日本人はほぼ全員死亡したため彼らの最期については不明な点が多い。だが、同市では日本人を上回る数のロシア人らが、バルチザンに殺戮されたのだった。

スタインらに、八万という金額で負け試合を約束したという事実が明らかになったのである。

「全員無罪」から一転、永久追放！



▲初代コミッショナー、ケネシー・ランデイス連邦裁判所判事。

翌一九二一年七月、選手八人と賭博師たちの裁判がシカゴ高等裁判所で始まった。しかし、検察側は圧倒的に不利であった。八百長を自供した選手たちの供述書を紛失し、有罪を立証する証拠を提出することができなかったのだ。

八月二日、判決が言い渡された。

「無罪」

八百長選手らに犯罪の事実はないというものだった。法廷に詰めかけた選手仲間たちからは歓声が飛びかい、無罪となった選手たちの肩をたたき合うなど、まるで祝勝パーティーさながらの様相となった。

首謀者と目された一塁手のチック・ガデルは、「俺たち正直者の野球選手を罵にかけようたって、そうはいかないんだ。さあ、みんな違者で運をつかめよ」と叫んでいた。そして選手たちは、退廷すると、シカゴのウエストサイドにあるイタリア料理店で夜遅くまで祝杯をあげ大騒ぎをしたのである。

しかし、選手たちには思いがけないことが、待ち受けていた。この事件を機に新たに設けられた、強大な権限を持つコミッショナーに就任したばかりのランデイス連邦裁判所判事は、判決が出た翌二日に、すかさず問題の八人の選手たちの「永久追放宣言」を行ったのである。

「裁判での無罪判決にかかわらず、八百長選手、そしてこれ以後同じくらみに関係を持った選手は、その瞬間、プロ野球選手としての命をみずから断つたものと思っていだきたい」

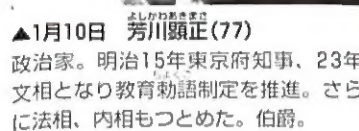
ランデイスの声明は毅然としたものであった。しかし、ファンのショックはあまりにも大きかった。スポーツ記者だったリング・ラードナーが「シカゴ・ヘラルド・アンド・エグザミネー」(一九二〇年九月三日)に書いた「嘘だと言つてよ、ジョー」という言葉は、野球と選手たちへの信頼を失いたくないファンの切ない思いを吐露するものであった。

八百長選手たちの球界復帰の運動も巻き起こった。とりわけ、バック・ウィーバーに関しては、一万二〇〇〇人のシカゴ市民が署名を寄せたが、その願いはかなえられなかった。また、「ジューレス」ジョーは故郷のグリーンヴィルに帰り、クリーニング店をいとなみながら、夏には地元のエミプロ・チームで野球を続けた。しかし、汚名が晴れることはなく、一九二二年、心臓発作で六三歳の生涯を閉じたのである。

往きて還らぬ



▲6月14日 マックス・ウェーバー(56)
独の社会学者。ハイデルベルク大学教授。名著「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を残す。



▲1月10日 芳川顕正(77)
政治家。明治15年東京府知事、23年文相となり教育勅語制定を推進。さらに法相、内相もつとめた。伯爵。



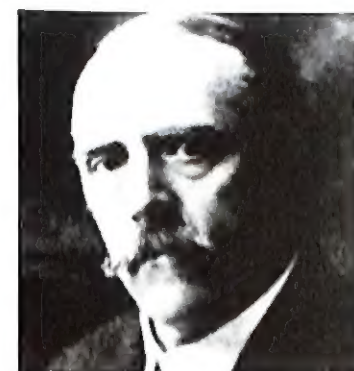
▲1月25日 A・モジリアーニ(35)
伊の画家で、エコール・ド・パリを代表する一人。「クッションの裸婦」など、独特の細長い首の女性像で知られる。



▲5月9日 岩野泡鳴(47)
小説家。詩人として活動後、明治42年小説「耽溺」を発表し、自然主義作家の地位を確立。女性問題でも話題に。



▲6月16日 10代目鴻池善右衛門(78)
大阪の豪商で、嘉永4年(1851)11歳で家督を相続。第十三国立銀行、日本生命設立など大阪財界で活躍した。



▲6月21日 J・コンドル(67)
英の建築家。明治10年工学寮教師として来日。鹿鳴館・ニコライ堂などを設計。日本の近代建築の父と言われる。



▲8月9日 中沢臨川(41)
文芸評論家。東京帝大工科大学卒業。ロシア文学やニーチェなどの紹介で知られる。著書に「自然主義汎論」など。



▲9月2日 山口孤剣(37)
社会主義者で、明治37年東京から下関まで社会主義伝道行商を行い有名に。詩人としても知られた。



▲9月3日 花籠(49)
力士で、荒岩を名乗り、明治38年大関。小柄ながら明治の力士随一の怪力と言われた。42年引退し、年寄花籠を襲名。



▲9月20日 尚典(56)
最後の琉球王・尚泰の息子で、貴族院議員。明治31年家督を相続、私財を投じ産業・教育など琉球開発に尽力。



▲9月23日 赤松則良(78)
海軍中將。明治9年横須賀造船所所長となり、日本人による初の軍艦建造を指揮。長女・登志子は森鷗外と結婚。



▲10月5日 末松謙澄(65)
政治家。駐英公使館書記を経て、明治23年衆議院議員。通信相、内相などを歴任。「源氏物語」の英訳も手がけた。



▲10月6日 墨田(57)
ジャーナリスト。明治25年「万朝報」創刊。スキャンダル記事などで人気を呼ぶ。探偵小説「鉄仮面」も翻訳。



●特集

公害 足尾銅毒事件の惨状を見かね 田中正造、天皇に直訴状！／と謝野晶子、衝撃の歌集刊行！／「みだれ髪」にこめた「愛と情熱」／「ヒーロー」か若谷の「天狗」か 明治の「タバコ大戦争」！

●レントゲン、テュナンなど五部門六人

●第100ベル賞授賞式！

●ニースウエイアル

フォト十日程で再現する35日／慶応義塾で、一九二〇世紀送迎会開催（1月1日）／八幡製鉄所 操業開始（2月5日）／昭和天皇誕生（4月29日）／星亨 暗殺（6月21日）／ヒカソ、パリで初の個展（6月24日）／「義和團事件」に関する北京議定書調印（7月7日）／伊のマルコーニ、大西洋横断無線通信に成功（12月12日）

●人物クロソアツプ

●高橋謙吉、アドレナリンの特許取得！

●決定的瞬間

大英帝国の象徴、ビクトリア女王の死

●美の出会い

●黒田清輝「裸体婦人像」にクレーム！

●女たちの肖像／奥村五百子、「愛国婦



日録20世紀専用バイナダー
高級感あふれる特製バイナダーを用意しました。「日録20世紀」を1冊ずつ年代順(19世紀)にそしてそろえれば、「20世紀」ビジュアル百科のできあがり。10年ごとに分類するためのシールも添付しています。取りはずしは簡単で、整理にも便利、じょうずな仕上がりです。あなたの書斎を飾るホーム・ライブラリとして、永く保存してお楽しみください。バイナダー1部1300円(税別)。全国の書店でお求めください。



人会二創立／勝者・敗者：慶応義塾
本人初のラグビー試合／証言・あの日のこと：原敏、福田英子／「現場」を歩くのじ：久里浜「ペリー上陸記念碑」の一世／20世紀博物館 明治大刑事博物館（東京）／外から見たNIPPON／ペリー公使夫人 滞日一八年の日記
●ベストセラー／中江兆民 二年有半／スターと名場面／川上哲二郎、海外巡業／モノ語り01「化粧水オールドミン

■既刊好評発売中(既刊80冊) 1920・1930・1940・1950・1960・1970・1980年代がそろいました



クワンバー: お近くの書店でお求めください。創刊号のみ282円(税別)です。直接弊社にご注文の場合は、冊数に関係なく送料200円のご負担となります。なお、代金と送料は先にお送りください。申込先: 講談社読者サービス係。電話 03-5395-3

三二事典

1920年の キーワード

力の銀行が取り付け騒ぎに、あい二一
行が休業に追いこまれるなど、日本
経済は大不況におちいった。

選挙区制
選挙区制の議員定数を一人とする選挙区制度。二大政党制を実現して政局を安定させる反面、多量の死票を生み少数政党に不利になる。原教内閣は五月一〇日の総選挙にあたり、社会主義政党の台頭を阻止するために導入したこの制度を活用、政権党・政友会は大勝させた。大正一四年五月には、護憲三派の加藤高明内閣によつて、再び一区を三・五人とする中選挙区制が復活した。

分離開建築會

日本の近代建築運動の先駆けを担つた理論グループ。東京帝大建築學科の石本喜久治・堀口捨己^{（トキミツ）}・滝沢真弓^{（マコト）}・森田慶一・山田守・矢田茂の六人が卒業直前の二月一日、学内で習作展を開催したことに始まる。「我々だけ起つ。過去建築園より分離し、總の建築を以て真に意義あらしめる新建築園を創造せんがために」を冒頭とする有名な宣言を掲げ、西欧建築様式一辺倒の建築界に抗した。



▶石本喜久治設計の朝日新聞社。曲面の使用、円形窓などに表現主義の手法。

大戦景氣を背景にした激しい投機の後、三月一日の株式の大暴落を登端に起こった全国的恐慌状態。四月に増田ビルブローカー銀行破綻、商品相場暴落。五月には貿易商社の茂木商店の倒産から機関銀行の七十四銀行が破綻。七月にかけて全国一六



「西にレーニン、東に原敬」
憲政会の永井柳太郎議員が七月八日に衆議院で述べた演説の一節。「今日の世界においてなほ階級専制を主張するもの、西に露国過激派政府のレーニンあり、東にわが原敬総理大臣あり」というもので、普選法案の討論中に突然、衆議院を解散、総選挙を行い、高まりを見せていた普選運動をつぶした原首相に対する精一杯の皮肉だった。一四日、永井は五日間国会出席停止の懲罰を受けた。

英外相・カーゾンによって七月に提唱されたソビエトとポーランドの国境線。ブク川にそつた白ロシア、ウクライナ、ポーランドの民族的境界を基準とした。しかし翌年のリガ条約では、二〇〇キロも東方に国境線が引かれたため、少数民族問題を招き、ソ連は一九四三年の米・英・ソ

三首腦によるテヘラン会議でカーゾン・ラインの復活を求め、一九四五年に現在の国境線が確定した。

ザルツブルク音楽祭
モーツァルトの生地、オーストリアのザルツブルクで毎年開かれる世界的な音楽祭。ホフマンスタール、R・シュトラウスらが創立、八月二日に初めて開催された。今も毎年呼び物となっている野外劇「イエーダフマン」は、この音楽祭のためにホフマンスタールが書いた中世に題材をとった宗教劇で、大聖堂前広場や市の中心広場を舞台に利用した。

従来の救護課を改編・拡充して組織された部局。産業化の進展にともなつて山積した社会問題、労働問題等を処理するため、八月二四日、内務省官制改正施行により設置された。罹災・窮民救助、職業紹介、授産事業、失業救済、社会教化などを業務とし、大正一年には内務省外局となつて労働行政を重要な柱とした。昭和三年、衛生行政とともに厚生省に移管された。

東京地下鉄道株式会社
後の帝都高速度交通営団。前年に東京市内外交通調査委員会が発表した

▶レールが敷かれる直前の、昭和二年始め上野車坂付近の地下鉄工事現場。



計画を実現するために、組織された会社。八月二九日設立。取締役に根津嘉一郎・早川徳次らが就任、第一期工事として、品川から上野を経て浅草雷門にいたる路線が発表されたが、関東大震災で断念。結局、大正一四年に東京復興計画の一部として告示され、昭和二年になってやつと上野・浅草間二・二キロが開通した。

句に及し、新聞印刷工は、前年七月下旬に、東京の全新聞が四日間ストップする未曾有の争議を行ったが惨敗。一〇月に万朝報社が労働者側要求を認める朗報に沸いたものの、今回も正進会員九七七人が解雇されるという大きな犠牲を払った。

逮捕されたのを契機に、一月一日、不正な工事の原因となっていた市役所と業者の「黒い慣行」が公になり、さらに東京瓦斯の値上げに際しても市会議員が会社側から買取されていたことが明らかになった。兩事件は一括起訴され、高橋をはじめ六三人に有罪判決が言い渡された。

道路取締令

従来、道府県令にゆだねていた道路法第四九条の道路または交通に関する取締規則を、国レベルで統一、二月一六日、内務省令として公布。翌年一月一日施行。左側通行の徹底、曲がり角など交通頻繁な場所の横断についての規定、荷車の輪幅・重量の制限、道路での遊戯、保護者なしの幼児の歩行の禁止、違反者に対する処分などを定めた。

過刊YEA F BOOK 目錄20世紀1920
CONTENTS

[illegible]



貯める
蓄える
カジマ

熱や水をたいせつに、貯めてつかう。カジマは、貯めることに熱心です。
いえ、いえ、ヘソクリの話ではございません。

in 鹿島

KAJIMA CORPORATION

本社: 〒107-8388 東京都港区元赤坂1-2-7

ホームページ <http://www.kajima.co.jp>

